9101429401

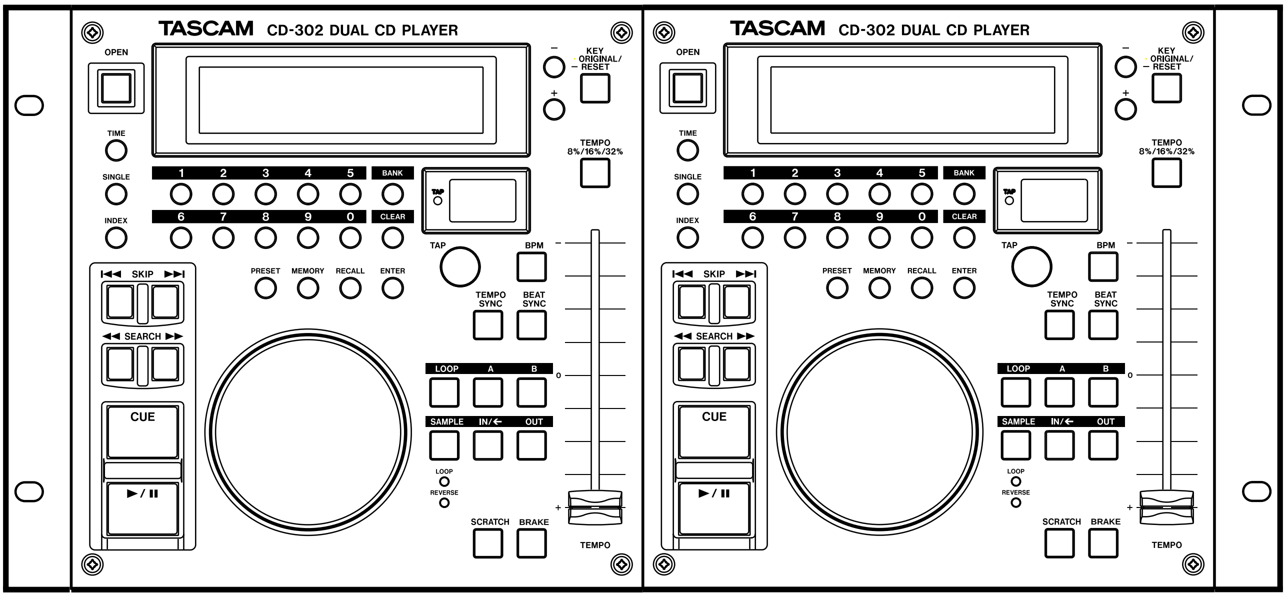
TASCAM
TEAC Professional Division

CD-302

Dual CD Player

取扱説明書

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO


TASCAM
CD-302 DUAL CD PLAYER
OPEN
TIME
SINGLE
INDEX
KEY
ORIGINAL/
RESET
TEMPO
8%/16%/32%
1
2
3
4
5
BANK
6
7
8
9
0
CLEAR
TAP
BPM
PRESET
MEMORY
RECALL
ENTER
TEMPO SYNC
BEAT SYNC
SKIP
SEARCH
CUE
►/ II
LOOP
A
B
SAMPLE
IN/←
OUT
LOOP
REVERSE
SCRATCH
BRAKE
TEMPO

第1章　はじめに

このたびは、TASCAM CD-302をお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。本機はCDプレーヤーユニットを2つ搭載し、コントロール部分を本体から分離した、デュアルCDプレーヤーです。

ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取扱い方法をご理解いただいた上で、充分に機能を発揮させ末永くご愛用くださいますようお願い申しあげます。

目次

- **第1章　はじめに 2**
  - 1.1　構成 3
  - 1.2　安全上のご注意 3
  - 1.3　設置、使用上のご注意 3
  - 1.4　コンパクト・ディスクの取扱い 3
  - 1.5　ラックマウントについて 3
  - 1.6　主な特長 4
  - 1.7　アフターサービスについて 4
  - 1.8　バックアップ 5
  - 1.9　アンチショックメモリー 5
  - 1.10　インスタントスタート機能 5
  - 1.11　プリセット 5
- **第2章　各部の名称と機能 7**
  - 2.1　プレーヤー本体（フロントパネル） 8
  - 2.2　プレーヤー本体（リアパネル） 8
  - 2.3　リモートコントローラー（フロントパネル） 8
  - 2.4　リモートコントローラー（リアパネル） 10
  - 2.5　ディスプレイ 10
- **第3章　基本操作編 11**
  - 3.1　通常の再生 11
    - 3.1.1　通常の再生 11
    - 3.1.2　再生の一時停止 11
    - 3.1.3　再生の停止 11
  - 3.2　プレイモード 11
  - 3.3　頭出し機能 11
    - 3.3.1　キュー 11
    - 3.3.2　オートキュー 12
    - 3.3.3　JOGダイヤルを使った頭出し 12
    - 3.3.4　SEARCHキーを使った頭出し 12
    - 3.3.5　テンキーを使った頭出し 12
  - 3.4　ループ再生 12
    - 3.4.1　ループモードの設定 12
    - 3.4.2　A-B間ループ 13
    - 3.4.3　ループポイントの設定（A-B間ループ時） 13
    - 3.4.4　ループ再生（A-B間ループ時） 13
    - 3.4.5　ループポイントの消去（A-B間ループ時） 13
    - 3.4.6　ループポイントの修正（A-B間ループ時） 14
    - 3.4.7　A-B間時間表示 14
    - 3.4.8　シングルループ 14
    - 3.4.9　オールループ 14
- **第4章　応用操作編 15**
  - 4.1　テンポコントロール機能 15
    - 4.1.1　テンポのみを変える 15
  - 4.2　キーコントロール 15
    - 4.2.1　キーを%単位で変える 15
    - 4.2.2　キーを半音単位で変える 15
  - 4.3　サンプラー機能 16
    - 4.3.1　サンプリングする 16
    - 4.3.2　A-B ループで設定した区間をサンプリングする 16
    - 4.3.3　アウトポイントの修正 16
    - 4.3.4　サンプラーの再生 16
    - 4.3.5　サンプラーのリバース再生 17
    - 4.3.6　サンプラー再生テンポの設定 17
    - 4.3.7　サンプラー再生キーの設定 17
    - 4.3.8　サンプラーのループ再生 17
    - 4.3.9　サンプリングデータの消去 18
  - 4.4　ベンド機能 18
  - 4.5　BPM 18
    - 4.5.1　BPMの計測 18
    - 4.5.2　BPM値のクリア 18
    - 4.5.3　TAPキーによるBPMの計測 18
    - 4.5.4　タップ値のクリア 18
    - 4.5.5　JOGダイヤルによるタップ値の補正 18
  - 4.6　10キーモード 18
  - 4.7　テンポシンク機能 19
  - 4.8　ビートシンク機能 19
  - 4.9　スクラッチ再生 20
  - 4.10　メモリー機能 20
    - 4.10.1　メモリー 20
    - 4.10.2　メモリー番号からのリコール 20
    - 4.10.3　メモリートラックからのリコール 21
    - 4.10.4　メモリーの書き換え 21
    - 4.10.5　サンプリングポイントのメモリーリコール 21
    - 4.10.6　メモリーの消去 22
  - 4.11　ボイスリデュース機能 22
  - 4.12　プログラム再生 22
    - 4.12.1　プログラムの設定 22
    - 4.12.2　プログラムの追加 23
    - 4.12.3　プログラムの削除 23
    - 4.12.4　プログラムの全消去 23
  - 4.13　出力レベルの設定 24
  - 4.14　ブレーキ機能 24
  - 4.15　EOM（End Of Message）の設定 24
  - 4.16　オートレディー機能 25
  - 4.17　タイマープレイ機能 25
  - 4.18　インクリメンタルプレイ機能 25
  - 4.19　リレープレイ機能 26
  - 4.20　ダイレクトモード 26
  - 4.21　ディスクトレイのオートクローズ 26
  - 4.22　スリープ機能 27
  - 4.23　フェーダースタート/ストップ機能 27
  - 4.24　イベントスタート機能 27
  - 4.25　ファクトリープリセット 27
- **第5章　定格及び性能 28**
  - 寸法図 28
  - エラーメッセージ 29
  - スペアパーツリスト 29

1.1　構成

本機の構成は以下の通りです。

1. コンパクト・ディスク・プレーヤー	1
2. リモート・コントローラー	1
3. 付属品	
① リモコン用ケーブル（2.5m）	2
② 取扱説明書	1
③ ラックマウントビス	1式
4. 保証書	1

1.2　安全上のご注意

- ● 本機の電源はAC 100V 50−60Hzの日本国内仕様です。電源事情の異なる海外ではご使用になれませんので、ご注意ください。また、直流電源に直接つないで使用することはできません。
- ● 電源コードをコンセントから抜く時には、必ずプラグを持って抜いてください。コードを引っ張るなどの無理な使い方は、断線など故障の原因になります。また、水などに濡れた手でプラグを抜き差しするのは、感電の恐れがあり非常に危険ですので、絶対に行わないでください。
- ● ケースのカバーを取り外したり、内部に手を触れたりしないでください。万一、内部に水などの液体や可燃物、ピンやクリップなどの金属類が入った場合は感電の危険があり、また故障の原因になりますので、直ちに電源プラグを抜いて最寄りの当社サービス機関までご連絡ください。

1.3　設置、使用上のご注意

- ● 本機の動作温度は5℃〜35℃です。この範囲内でご使用ください。また、ほこりや湿気の多い場所への設置は故障の原因になりますので、さけてください。
- ● 95〜105Vが使用範囲です。変動の多い場所では電圧調整器をご使用ください。
- ● 本機を置く台や棚は、必ず水平で頑丈な場所に設置してください。
- ● 本体には強い衝撃を与えないでください。内部回路やケースが損傷する場合があります。
- ● パネルおよびケースの清掃には、シリコンクロスなどの軟らかい布をご使用ください。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤液を布に含ませて軽く拭いてください。なお、シンナーやベンジンなどの溶剤は、アクリル部や塗装面が溶けたり、表示文字が消えたりすることがありますので、絶対に使用しないでください。

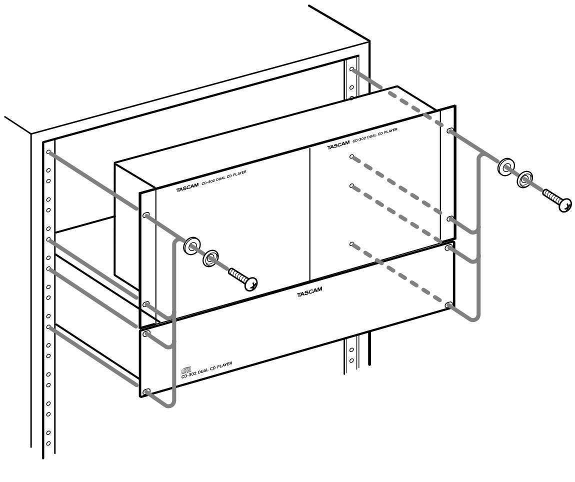
1.4　コンパクトディスクの取扱い

本機はコンパクトディスク（CD方式）専用のプレーヤーです。COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークがあるコンパクトディスクをお使いください。

- ● ディスクは、必ずラベル面を上にしてセットしてください。コンパクトディスクは片面演奏です。
- ● ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を押してディスクの外周部分を手で挟むように持って取り出してください。
- ● 信号記録面にほこりや指紋が付いたら、柔らかい布などで軽く内側から外側に直角方向に拭いてください。コンパクトディスクにはレコード盤のような音溝はありません。ほこりなどが付いたら、柔らかい布で拭くだけで充分です。多少のほこりや汚れなどは音質に全く影響を与えません。
- ● レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーを絶対に使わないでください。コンパクトディスクはプラスチック製です。これらの薬品で表面が侵されることがあります。
- ● 演奏が終わったら、ディスクを必ずケースに入れて保管してください。ディスクのひどい変型やひどい傷は音飛びの原因になります。
- ● 直射日光が当たる場所や高音多湿な場所に長時間置かないでください。ディスクを高音な場所に長時間放置すると変型などの原因になります。
- ● ラベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。

1.5　ラックマウントについて

本機はプレーヤー本体、リモートコントロールユニット両方に、ラックマウントアングルを備えていますので、EIA規格の19インチラックにマウントすることができます。



1.6　主な特長

- 2つのプレーヤーユニットをもつダブルCDプレーヤー
- それぞれのユニットにライン出力端子装備
- プレーヤー本体とリモコンはセパレートタイプ
- リモコンも2つに分かれるセパレートハウジング
- 約10秒間のアンチショックメモリー搭載（2台それぞれに搭載）
- インスタントスタート機能
- 大型JOGダイヤルによる1フレーム単位の頭出しが可能
- ±8、16、32%のテンポおよびキーコントロール機能
- キーは変えずにテンポだけ変えられるオリジナルキー機能
- テンポはそのままでキーだけ変えられるキーコントロール機能
- キーを半音単位で変化させることが可能
- テンポとキーを同時に変えられるピッチコントロール機能
- TEMPOボリュームには100mmストロークのスライダーを採用
- 約10秒のサンプリング機能（2台それぞれに搭載）
- A-Bループ、シングルループ、オールループ再生機能
- シームレスループ再生機能（A-B間ループ再生時）
- BPMカウンターおよびBPM自動計測機能搭載
- 2台のCDプレーヤーのテンポを合わせるテンポシンク機能
- 2台のCDプレーヤーのビートを合わせるビートシンク機能
- マニュアルでBPMの計測が可能なタップ機能
- ビートの微調整が可能なベンド機能
- ターンテーブルのように音を止めることができるブレーキ機能（0.2〜5sec. 0.1sec.単位）
- ターンテーブルのようなスクラッチプレイが可能なスクラッチ機能
- 200曲分のメモリーが可能なバンクを5つ（A〜E合計1,000曲分、）搭載
- 様々なユーザー設定が可能なプリセット機能
- 出力レベルをデジタル領域で変更可能（±6dB 1dB単位）
- 経過時間および残り時間表示の切替が可能
- 1曲再生、全曲再生、プログラム再生（最大30曲）機能
- オートキュー機能（5段階の検出レベル）
- オートレディー機能
- EOM（End Of Message）機能（6段階の時間設定）
- タイマープレイ機能（プレーヤー１優先）
- リレープレー（プレーヤー1→プレーヤー2→プレーヤー1・・・）
- 30分後にモーターを自動的に停止するスリープ機能
- 1分後にトレイを自動的にクローズするトレイオートクローズ機能
- インクリメンタルプレイ機能
- イベントスタート機能
- フェーダースタート機能

1.7　アフターサービスについて

- この製品には保証書を別途添付しております。保証書は所定事項を記入してお渡ししておりますので、記載内容をご確認の上、取扱説明書などと一緒に大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より１年です。保証期間中は記載内容により当社サービス機関が修理いたします。その他の詳細につきましては保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店または当社営業所などにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生し修理を依頼される場合は、次の事項を確認の上ご連絡ください。
  - ○ 型名、型番（TASCAM CD-302）
  - ○ 製造番号（Serial No.）
  - ○ 故障の症状（できるだけ詳しく）
  - ○ お買い上げ年月日
  - ○ お買い上げ販売店名
- この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。

1.8　バックアップ

CD-302は以下の項目をバックアップします。

- プレイモード（連続再生、1曲再生、プログラム再生モード）
- タイムモード（経過時間表示、残り時間表示モード）
- プログラムの内容
- プリセット項目
- バンク（A, B, C, D, E）
- テンポ、キー（8, 16, 32%）
- インデックス（オン、オフ）
- ループ（オン、オフ）

1.9　アンチショックメモリー

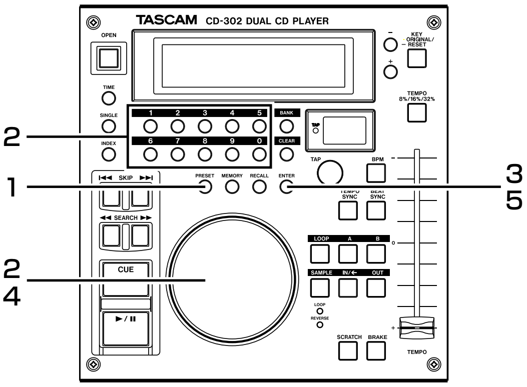
CD-302は約10秒のアンチショックメモリーをそれぞれのプレーヤーユニットに搭載しています。
このため外部からの衝撃により、ピックアップが一時的に情報を読み取ることができなくなっても、音が途切れることなく再生を続けることができます。

1.10　インスタントスタート機能

CD-302は上記のアンチショックメモリーにより、一時停止状態から再生を行うときは、瞬時に音が立ち上がるインスタントスタートを行います。

1.11　プリセット

CD-302では、様々な操作方法や動作内容をあらかじめ設定しておくことができます。様々なユーザー環境に応じて、カスタマイズができます。

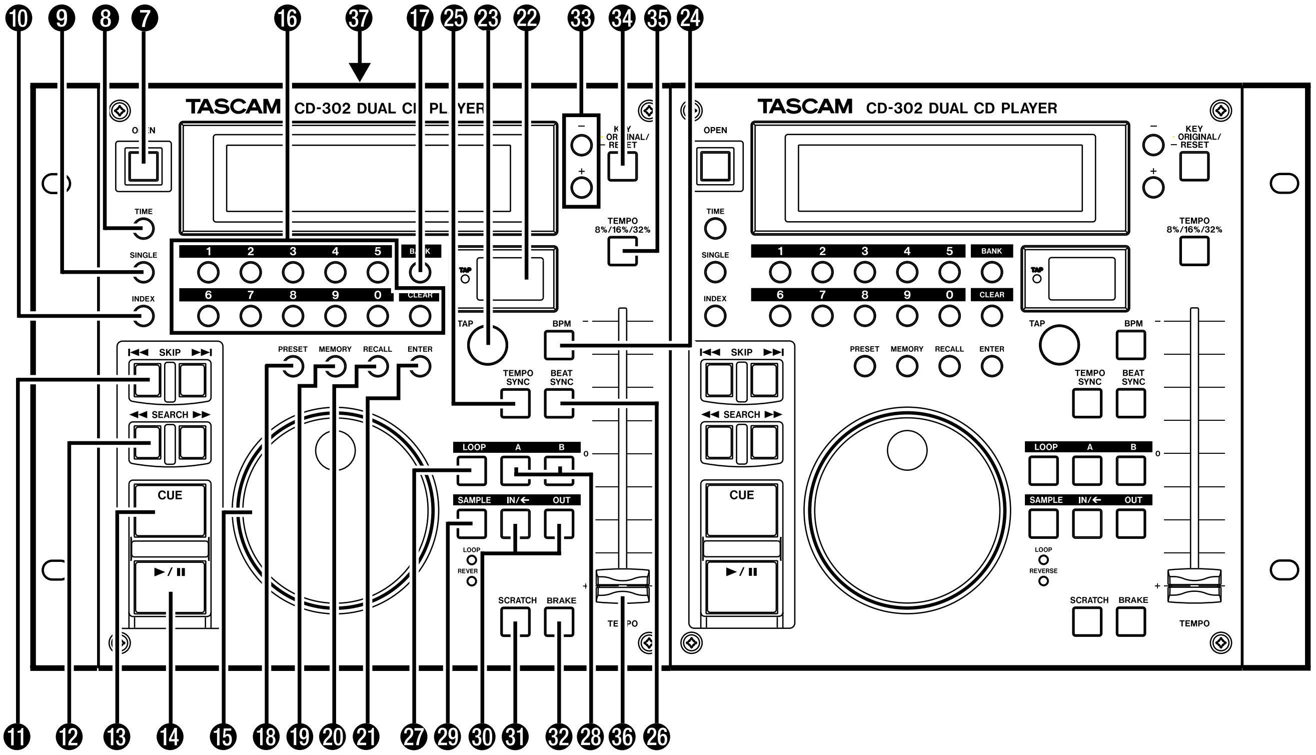

TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
OPEN
TIME
SINGLE
INDEX
1 2 3 4 5
6 7 8 9 0
BANK
CLEAR
KEY ORIGINAL/RESET
TEMPO 8%/16%/32%
TAP
BPM
PRESET
MEMORY
RECALL
ENTER
SKIP
SEARCH
TEMPO SYNC
BEAT SYNC
LOOP A B
SAMPLE IN/← OUT
CUE
►/II
LOOP
REVERSE
SCRATCH
BRAKE
TEMPO
2
1
2
4
3
5

設定方法

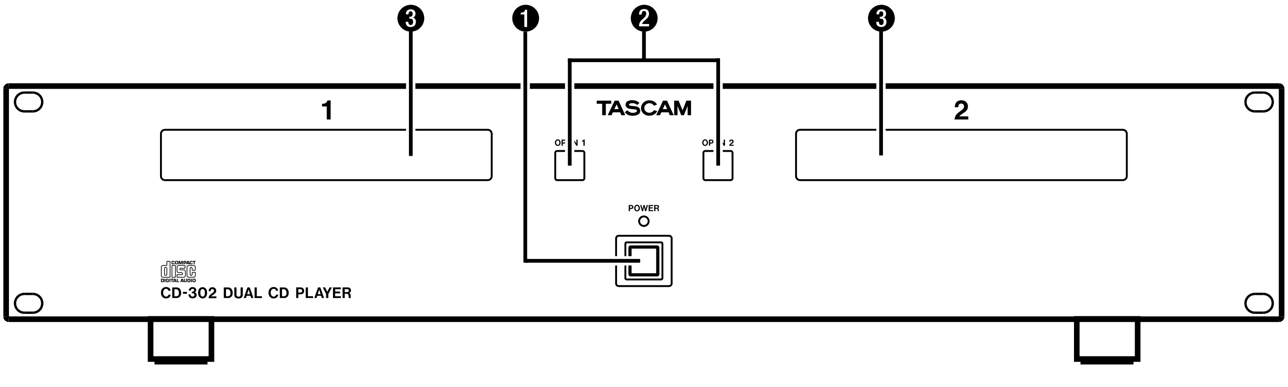
1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで希望の項目を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. JOGダイヤルを回し設定値を選択します。
5. ENTERキーを押します。

No.	プリセット項目	設定値	内容
01	LOOP（LOOP MODE）	A-b* / S / ALL	ループ再生モードの設定を行います。“A-b”を選択したときはシームレスループ再生が可能になります。
02	CUE_P（CUE POINT）	PLY* / CUE	キューポイントの設定方法を選択します。
03	JOG（JOG FEELING）	36* / 18 / 9 frame	JOGダイヤルを1回転させたときのフレーム数を設定します。
04	KEY（KEY CONTROL MODE）	+* / ♭#	キーコントロールを行う際に、%単位で行うか、半音単位で行うかを設定します。
05	SAmP_P（SAMPLER PLAY MODE）	F*(FORWARD) / r (REVERSE)	サンプラーの再生モードを設定します。
06	SAmP_L（SAMPLER LOOP）	OFF* / On	サンプラーのループ再生のオン／オフを設定します。
07	SAmP_t（SAMPLER TEMPO）	0* (±32%)	サンプラー再生時のテンポを設定します。
08	SAmP_K（SAMPLER KEY）	0* (±32%)	サンプラー再生時のキーを設定します。
09	SAmP_r （SAMPLER MEMORY RECALL）	OFF* / On	メモリーリコールする曲にIN-OUTポイントが設定されていた場合、ロードするかしないかを設定します。
10	VoICE_r（VOICE REDUCE）	OFF* / On	ボイスリデュース機能のオン／オフを設定します。
11	PrOG（PROGRAM）	1 to 30, E	最大30曲までのプログラムを組むことができます。
12	oUtPUt（OUTPUT LEVEL）	nor* / 0 (±6dB, 1dB step)	出力レベルをデジタル領域で変えることができます。
13	brAKE（BRAKE TIME）	1.6* (0.2 to 5sec., 0.1sec. step)	ブレーキタイムを設定します。
14	EOm（EOM TIME）	OFF* / 10 / 15 / 20 / 30 / 60 / 90 sec.	EOMタイムを設定します。
15	A_CUE（AUTO CUE DETECT LEVEL）	-72* / -66 / -60 / -54 / -35dB / OFF	オートキュー検出レベルを設定します。
16	A_rEdY（AUTO READY）	OFF* / On	オートレディー機能のオン／オフを設定します。
17	t_PLAY（TIMER PLAY）	OFF* / On	タイマープレイのオン／オフを設定します。
18	I_PLAY（INCREMENTAL PLAY）	OFF* / On	インクリメンタルプレイのオン／オフを設定します。
19	r_PLAY（RELAY PLAY）	OFF* / On	リレープレイのオン／オフを設定します。
20	dIrECt（DIRECT MODE）	OFF* / On	再生中にOPENキーを受け付けるかどうかを設定します。 [→ 4.20 ダイレクトモード　P26]
21	CLoSE（TRAY AUTO CLOSE）	On* / OFF	トレイオートクローズ機能のオン／オフを設定します。
22	SLEEP（SLEEP）	On* / OFF	スリープ機能のオン／オフを設定します。
23	F_PrE（FACTRY PRESET）	_SUrE_	工場出荷時状態に戻します。
24	ALL_CL（MEMORY ALL CLEAR）	_SUrE_	メモリー内容をクリアします。

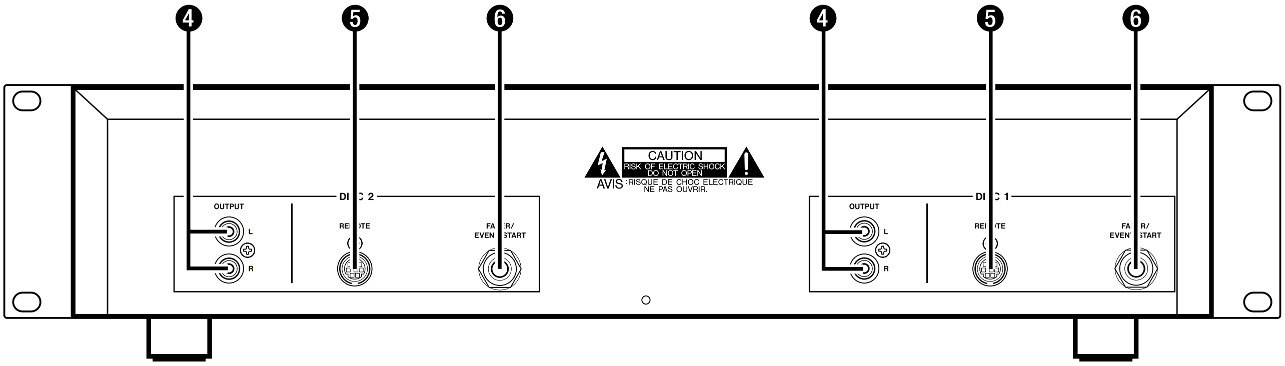
*印は初期値



⑩ ⑨ ⑧ ⑦ ⑯ ㊲ ⑰ ㉕ ㉓ ㉒ ㉝ ㉞ ㉟ ㉔
TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
OPEN
TIME
SINGLE
INDEX
1 2 3 4 5 BANK
6 7 8 9 0 CLEAR
TAP
BPM
KEY ORIGINAL/ RESET
TEMPO 8%/16%/32%
SKIP
SEARCH
CUE
►/❚❚
PRESET
MEMORY
RECALL
ENTER
TEMPO SYNC
BEAT SYNC
LOOP
A
B
SAMPLE
IN/←
OUT
LOOP
REVERSE
SCRATCH
BRAKE
TEMPO
⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉗ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉘ ㊱ ㉖



❸ ❶ ❷ ❸
1
TASCAM
OPEN 1
OPEN 2
2
POWER
COMPACT disc DIGITAL AUDIO
CD-302 DUAL CD PLAYER



❹ ❺ ❻ ❹ ❺ ❻
CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN
AVIS : RISQUE DE CHOC ELECTRIQUE NE PAS OUVRIR.
DISC 2
OUTPUT
L
R
REMOTE
FADER/ EVENT START
DISC 1
OUTPUT
L
R
REMOTE
FADER/ EVENT START

2.1　プレーヤー本体（フロントパネル）

❶ POWERボタン

電源のオン／オフを行います。

❷ OPENキー

ディスクトレイの開閉を行います。
ダイレクトモード オン時[→ 4.20 ダイレクトモード　P26]は、トレイが閉ると自動的に再生が始まります。

❸ ディスクトレイ（１、２）

コンパクトディスクを挿入します。

2.2　プレーヤー本体（リアパネル）

❹ OUTPUT端子

ライン出力端子です。ミキサーなどに接続します。

❺ REMOTE端子

リモートコントローラーと接続します。

❻ FADERSTART/STOP、EVENT START端子

フェーダースタート/ストップおよびイベントスタートを行うときに使用します。

2.3　リモートコントローラー（フロントパネル）

❼ OPENボタン

ディスクトレイの開閉を行います。
ダイレクトモード オフ時[→ 4.20 ダイレクトモード　P26]は、再生中にこのボタンを押しても受けつけません。

❽ TIMEキー

ディスプレイの時間表示を切り替えます。
経過時間、残量時間、A-Bループ間の時間を表示します。

❾ SINGLEキー

再生モード（全曲再生／1曲再生／プログラム再生）の切り替えを行います。

❿ INDEXキー

インデックスサーチモードにします。
INDEXキーを押すと、ディスプレイの“INDEX”が点灯し、SKIPキーを使ってインデックスサーチが行えます。
このとき、SKIPキーを0.5秒以上押し続けると、インデックスナンバーが自動的にインクリメント／デクリメントされ、キーを離した時点でインデックスサーチを行います。

メモ

再生中にインデックスサーチを行った場合、サーチ後自動的に再生を始めます。
一時停止中にインデックスサーチを行った場合、選択されたトラックは、サーチ後一時停止状態になります。

⓫ SKIPキー（⏮　⏭）

トラックサーチおよびインデックスサーチを行います。
⏭キーを押すと、次の曲の頭に進みます。⏮キーを押すと、曲の途中であれば、現在の曲の頭へ戻り、もう一度押すと前の曲の頭へ戻ります。押す回数によって任意の曲を選択することができます。
また、SKIPキーを0.5秒以上押し続けると、トラックナンバーあるいはインデックスナンバーが自動的にインクリメント/デクリメントされ、キーを離した時点でトラックサーチあるいはインデックスサーチを行います。

メモ

再生中にトラックサーチを行った場合、選択されたトラックは、サーチ後自動的に再生を始めます。
一時停止中にトラックサーチを行った場合、選択されたトラックは、サーチ後一時停止状態になります。

⓬ SEARCHキー（◀◀　▶▶）

SEARCHキーを押している間、早送り、巻き戻しを行い、希望の位置を探すことができます。

メモ

一時停止中にSEARCHキーを押した場合、SEARCHキーを離した時点で一時停止状態になります。
再生中にSEARCHキーを押した場合、SEARCHキーを離した時点で再生を再開します。

⓭ CUEキー [→ 3.3.1 キュー　P11]

登録されているキューポイントをサーチし、一時停止状態にします。このときCUEキーを押すと、押している間、キューポイントから再生を行います。CUEキーを離すと再度キューポイントで一時停止状態になります。
プリセット項目の２“cUE-P”（CUE POINT）で“PLY（PLAY）”を選択しているときは、最後に再生したポイントがキューポイントになります。
“CUE（CUE）”を選択しているときは、CUEキーを使ってキューポイントを設定します。
キューポイントが登録されているときは、CUEキーが点灯します。

⓮ PLAY/PAUSEキー

再生/一時停止の切り替えを行います。
再生中はキーが点灯し、一時停止中はキーが点滅します。

⓯ JOGダイヤル

1フレーム単位での頭出し機能、一時的に再生速度を変化させるベンド機能、および各種パラメーターの設定に使用します。

⓰ テンキー/CLEAR [→ 4.6 10キーモード　P18]

ダイレクトトラックサーチ、タイムサーチ、プリセット項目の選択、メモリー登録／呼び出し時の設定に使用します。
入力した数値をリセットするときはCLEARキーを押します。
また、設定により、サンプラーキー、サンプラーテンポ、ブレーキタイム、ベンド、ボイスリデュースの各コントロールをダイレクトに行なうことができます。

⑰ **BANKキー**［→ 4.10 メモリー機能　P20］
5つあるメモリーバンクの切り替えを行います。

⑱ **PRESETキー**［→ 1.11 プリセット　P5］
プリセット項目を呼び出します。

⑲ **MEMORYキー**［→ 4.10 メモリー機能　P20］
様々な設定をメモリーします。

⑳ **RECALLキー**［→ 4.10 メモリー機能　P20］
メモリーをリコールします。

㉑ **ENTERキー**
メモリー、メモリーのリコール、プリセットの設定を行います。このキーを押しながらPLAYキーを押すと、プレーヤーが再生を始めると同時に、もう一台のプレーヤーが停止します。

㉒ **BPMカウンター**［→ 4.5 BPM　P18］
再生中の曲のBPMあるいはTAPキーを叩いたときのBPM値（81～161）を表示します。

㉓ **TAPキー**［→ 4.5 BPM　P18］
TAPキーを叩くことにより、手動でBPMを設定します。
このときBPMの計測モードはタップモードになり、BPMカウンターの横にあるTAP LEDが点灯します。
また、タップ値をクリア、JOGダイヤルによるタップ値の補正をすることもできます。

㉔ **BPMキー**［→ 4.5 BPM　P18］
BPMの自動計測モードとタップモードの切り替えを行います。
BPMキーを2秒以上押すと、BPM値をクリアし再計測します。

㉕ **TEMPO SYNCキー**［→ 4.7 テンポシンク機能　P19］
テンポシンク機能をオン／オフします。
TEMPO SYNCキーを押した時点でもう一台のBPMカウンターに表示されているBPM値に、こちらのBPM値を合わせるよう、自動的にテンポを調整します。
テンポシンクがオンの時は、テンポが同期するまではTEMPO SYNCキーが点滅し、テンポが同期するとTEMPO SYNCキーが点灯します。

㉖ **BEAT SYNCキー**［→ 4.8 ビートシンク機能　P19］
ビートシンク機能をオン／オフします。
もう一台のCDのビートにこちらのCDビートを合わせます。
このとき、一番近いビートに合わせます。
ビートが同期するまではBEAT SYNCキーが点滅、ビートが同期するとBEAT SYNCキーが点灯します。

㉗ **LOOPキー**［→ 3.4 ループ再生　P12］
ループ再生モードのオン／オフを選択します。
ループ再生モードがオンのときはLOOPキーが点灯します。
LOOPキー点灯時にPLAY/PAUSEキーを押すと、ループ再生を開始します。

㉘ **Aキー、Bキー**［→ 3.4 ループ再生　P12］
ループ再生の開始点および終了点を設定、消去、編集します。
LOOPポイントが設定されている場合、AキーおよびBキーが点灯します。

㉙ **SAMPLEキー**［→ 4.3 サンプラー機能　P16］
サンプラーの再生中はSAMPLEキーが点灯します。
サンプラーの録音中はSAMPLEキーが点滅します。
SAMPLEキーを押しながらINキーを押すと、サンプラーのリバース再生をオン／オフします。
SAMPLEキーを押しながらOUTキーを押すと、サンプラーのループ再生をオン／オフします。

㉚ **INキー、OUTキー**［→ 4.3 サンプラー機能　P16］
サンプリングの開始点／終了点の設定、編集およびサンプリングデータの消去を行います。
サンプリングデータがある場合は、INキーおよびOUTキーが点灯します。
INキーでサンプラーの再生、OUTキーでサンプラー再生の停止を行います。

㉛ **SCRATCHキー**［→ 4.9 スクラッチ再生　P20］
スクラッチ機能をオン／オフします。
スクラッチ機能がオンのときはSCRATCHキーが点灯します。SCRATCHキーが点灯しているとき、JOGダイヤルを回すとスクラッチ再生になります。

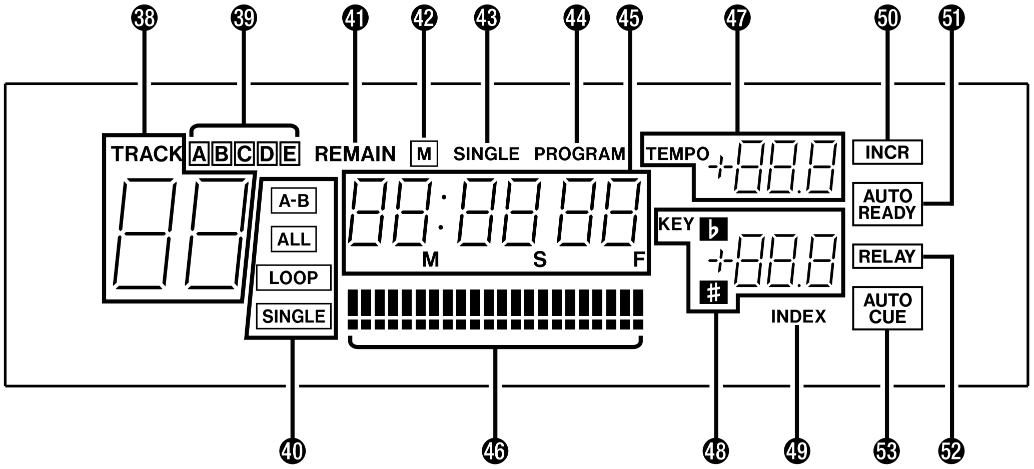
㉜ **BRAKEキー**［→ 4.14 ブレーキ機能　P24］
ブレーキ機能をオン／オフします。
ブレーキ機能がオンのときはBRAKEキーが点灯します。

㉝ **＋/－キー**［→ 4.2 キーコントロール　P15］
キーのコントロールを行います。
オリジナルキーモード時にはこのキーは働きません。

㉞ **KEY ORIGINALキー**
［→ 4.1.1 テンポのみを変える　P15］
オリジナルキーモードと、キーとテンポが別々に変化するモードの切り替えを行います。

㉟ **TEMPO 8%/16%/32%キー**
［→ 4.1 テンポコントロール機能　P15］
テンポおよびキーの可変幅を変更します。
キーを押す毎に±8%→16%→32%→0%→8%・・・と変化します。このとき選択した可変幅をディスプレイに2秒間表示します。

㊱ **TEMPOボリューム**
［→ 4.1 テンポコントロール機能　P15］
再生時にテンポを変えることができます。
可変幅は±8%/16%/32%の中から選択できます。


㊳
㊴
㊶
㊷
㊸
㊹
㊺
㊼
㊿
(51)
TRACK
A B C D E
REMAIN
M
SINGLE
PROGRAM
TEMPO
INCR
AUTO READY
A-B
ALL
LOOP
SINGLE
M
S
F
KEY
♭
♯
INDEX
RELAY
AUTO CUE
㊵
㊻
㊽
㊾
(53)
(52)

2.4　リモートコントローラー（リアパネル）

㊲ REMOTE端子

プレーヤー本体と接続します。

2.5　ディスプレイ

㊳ TRACK表示

現在のトラック番号を表示します。

㊴ バンクインジケーター

現在のメモリーバンクを表示します

㊵ ループモードインジケーター

ループモード（A-B、ALL、SINGLE）を表示します。

㊶ REMAINインジケーター

残り時間表示をしているときに点灯します。消灯時は経過時間を表示します。

㊷ M（メモリー）インジケーター

メモリー設定時に点灯します。

メモリーのある曲が含まれているディスクを挿入すると“M”が3秒間点滅します。

㊸ SINGLEインジケーター

1曲再生モード時に点灯します。

㊹ PROGRAMインジケーター

プログラム再生モード時に点灯します。

メモ

連続再生モード時は、SINGLEインジケーター、PROGRAMインジケーター共に消灯になります。

㊺ 時間表示部

時間やメッセージを表示します。

㊻ タイムアドレスバー

現在再生中のトラックのどの辺りを再生しているかを表示します。

時間表示が経過時間の時は、バーが左から順に点灯してゆきます。

時間表示が残り時間のとき（REMAINインジケーター点灯時）は、バーが全点灯から順番に消えてゆきます。

EOM設定時は、EOMポイントを通過した時点から点滅を始めます。

㊼ TEMPO表示

テンポ値を表示します。

㊽ KEY表示

キー値を表示します。半音単位で設定すると、“♭”あるいは“♯”が点灯します。

テンポ値とキー可変値の合計をここに表示します。

㊾ INDEXインジケーター

インデックスサーチ時に点灯します。

㊿ INCRインジケーター

インクリメンタルプレイ機能がオンの時に点灯します。

(51) AUTO READYインジケーター

オートレディー機能がオンの時に点灯します。

(52) RELAYインジケーター

リレープレー機能がオンの時に点灯します。

一台のプレーヤーをオンにすると、両方のプレーヤーがオンになります。

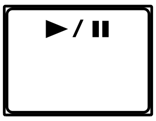
(53) AUTO CUEインジケーター

オートキュー機能がオンの時に点灯します。

3.1　通常の再生

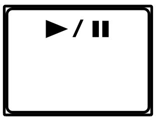
3.1.1　通常の再生

ディスクが正しく入っていることを確認してください。



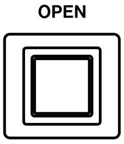
PLAY/PAUSEキーを押します。
再生中はキーが点灯します。

3.1.2　再生の一時停止



再生中にPLAY/PAUSEキーを押します。
一時停止中はキーが点滅します。

3.1.3　再生の停止



一時停止時にOPENキーを押します。
再生を終了し、ディスクトレイが出てきます。
本機にはストップキーはありません。
ダイレクトモード オン時［→ 4.20 ダイレクトモード　P26］は、再生中でもOPENキーを押すと再生を終了し、ディスクトレイが出てきます。

3.2　再生モード

SINGLEキーを押すことにより、再生モードが、全曲再生／1曲再生／プログラム再生モードに切り替わります。

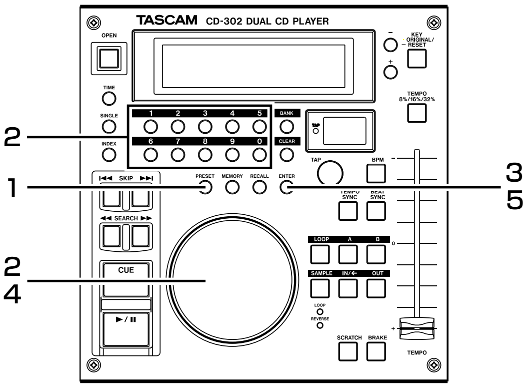
全曲再生モード　：　通常の再生モード
1曲再生モード　：　現在表示しているトラックのみを再生するモード
プログラム再生モード　：　プログラムした順番に再生するモード（最大30曲）

3.3　頭出し機能

3.3.1　キュー

キューポイントがあらかじめ登録されている場合、再生状態からCUEキーを押すと、キューポイントをサーチし一時停止状態になります。頭出しを行い確認再生した後、すぐに頭出ししたポイントに戻ることができます。

キューポイントの設定方法には2通りあり、プリセット項目の2（CUE POINT）で設定します。



1. PRESETキー押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“02”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. JOGダイヤルを回し設定値を選択します。

- “PLY（PLAY）”を選択した場合、最後に再生を開始したポイントをキューポイントとして登録します。
- “cUE”を選択した場合、一時停止状態からSEARCHキーとJOGダイヤルでサーチを行います。このとき、CUEキーが点滅し、CUEキーを押すとそのポイントをキューポイントとして登録します。

5. ENTERキーを押します。

キューポイントをサーチし一時停止状態のときCUEキーを押すと、押している間キューポイントから再生を行います。CUEキーを離すと再度キューポイントで一時停止状態になります。

キューポイントが登録されているときはCUEキーが点灯します。
メモリー機能［→ 4.10 メモリー機能　P20］を使ってキューポイントをメモリーしておくことができます。

A-B間ループ再生中（LOOPキーが点滅あるいは点灯しているとき）は、キューポイントの更新はできないようになっています。

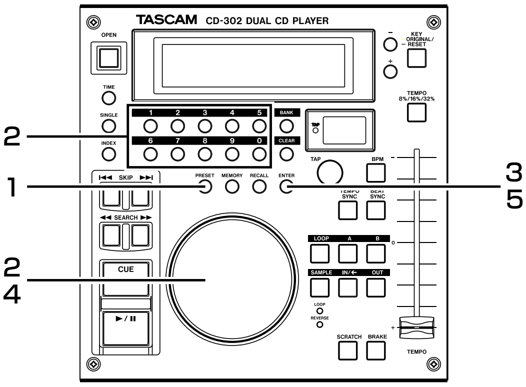
3.3.2　オートキュー

以下の場合に、あらかじめ設定したレベルの信号を検出すると、そこで一時停止状態になります。

- トラックサーチ、あるいはオートレディー機能で次の曲をサーチしたとき
- シングル再生モードで再生が終了し再度そのトラックの頭をサーチしたとき

検出レベルは、-72／-66／-60／-54／-35dB／OFFの中から選択できます。

OFF以外の値を選んだときは、ディスプレイのAUTO CUEインジケーターが点灯します。

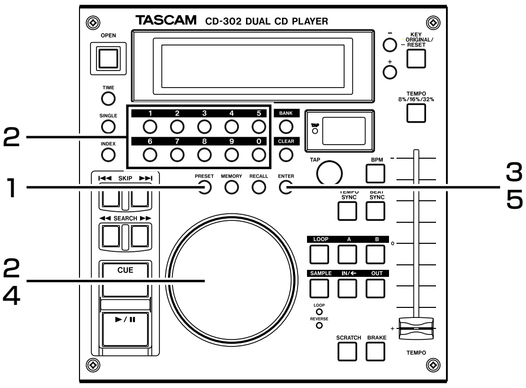

TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
2
1
2
4
3
5
PRESET
MEMORY
RECALL
ENTER

1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“15”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. JOGダイヤルを回し設定値を選択します。
5. ENTERキーを押します。

3.3.3　JOGダイヤルを使った頭出し

一時停止中にJOGダイヤルを回すことにより、任意のポイントを探すことができます。

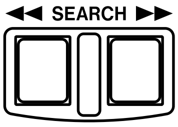
JOGダイヤルを1回転させたときのフレーム数を9／18／36フレームの中から選択することができます


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
2
1
2
4
3
5
PRESET
MEMORY
RECALL
ENTER

1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“03”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. JOGダイヤルを回し設定値を選択します。
5. ENTERキーを押します。

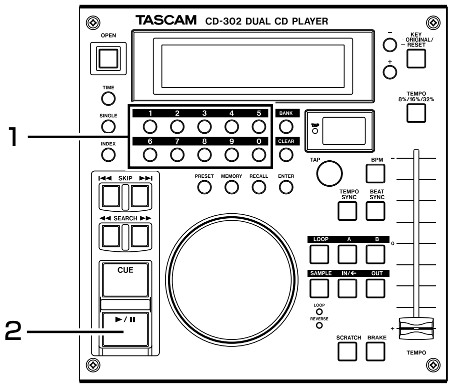
3.3.4　SEARCHキーを使った頭出し

一時停止中にSEARCHキーを押すことにより、任意のポイントを探すことができます。



3.3.5　テンキーを使った頭出し

テンキーを使って任意のポイントをサーチすることができます。


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
1
2

1. テンキーを使って、トラック→分→秒→フレームの順で入力します。
2. PLAY/PAUSEキーを押します。
   入力したポイントから再生が始まります。途中まで入力した場合は、その後は“0”が入力されサーチを始めます。

無効な数値を入力した場合は、ディスプレイの数値が点滅します。入力の途中で間違えた場合などは、CLEARキーを押して最初から入力し直すことができます。

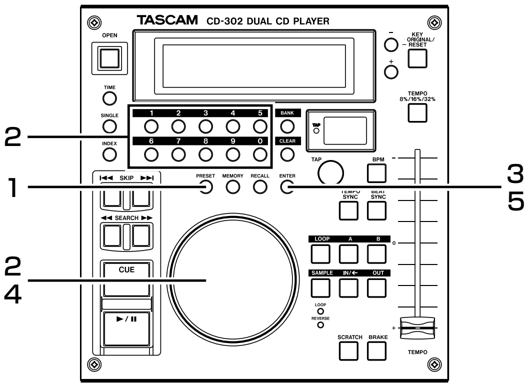
3.4　ループ再生

3.4.1　ループモードの設定

ループモードには、A-B間／SINGLE／ALLの3モードがあり、現在どのモードになっているかをディスプレイに表示します。

3.4.2　A-B間ループ

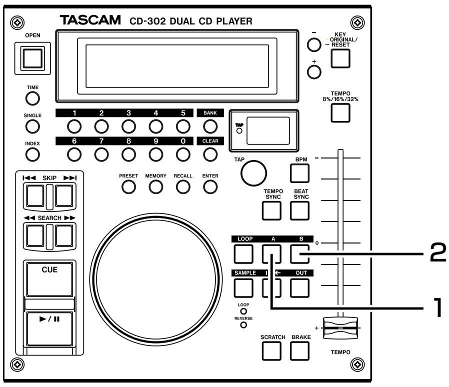
1曲の中の任意の2点間でつなぎ目なくループ再生を行います。Aが開始点、Bが終了点になります。


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
OPEN
TIME
SINGLE
INDEX
1 2 3 4 5
6 7 8 9 0
BANK
CLEAR
KEY ORIGINAL/ RESET
TEMPO 8%/16%/32%
TAP
BPM
SKIP
PRESET
MEMORY
RECALL
ENTER
TEMPO SYNC
BEAT SYNC
SEARCH
LOOP A B
SAMPLE IN/← OUT
CUE
LOOP REVERSE
►/II
SCRATCH BRAKE
TEMPO
2
1
2
4
3
5

1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“01”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. JOGダイヤルを回し“A-b”を選択します。
5. ENTERキーを押します。
このときディスプレイのA-Bインジケーターが点灯します。

3.4.3　ループポイントの設定（A-B間ループ時）

ループポイント（開始点、終了点）は、A／Bキーを押すことによって設定します。


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
LOOP A B
SAMPLE IN/← OUT
2
1

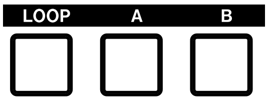
- A／Bキーが消灯していることを確認してください。

1. 再生または一時停止時にAキーを押すと、ループの開始点を設定します。このとき、Aキーは点灯、Bキーは点滅します。
2. その後Bキーを押すと、ループの終了点を設定します。
このときAキー、Bキーとも点灯に変わります。

再生中にループポイントの設定を行った場合は、B点を設定した時点で、ループ再生モードに入りLOOPキーが点灯します。

プリセット項目の20（DIRECT MODE）がオンのときは、LOOPキー消灯時にA、Bポイントの更新が可能です。
DIRECT MODEがオフのときは、A、Bキーが消灯しているとき（ループポイントが設定されていないとき）にループポイントの設定が可能です。ループポイントが既に設定されている場合は、一度ループポイントを消去してから再度設定を行ってください[→ 3.4.5 ループポイントの消去　P13]。
ループ再生中にBキーを押すと、そのポイントを新しいB点としてループ再生を続けます。ループ区間を次々に短くしてゆく効果が得られます。

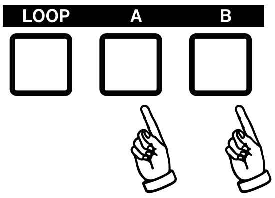
3.4.4　ループ再生（A-B間ループ時）



A／Bキー点灯時（再生中）にLOOPキーを押すと、LOOPキーが点灯しループ再生を開始します。
再度LOOPキーを押すと、LOOPキーが消灯しループ再生モードを抜けて通常の再生に戻ります。

ループ再生中にPLAY/PAUSEキーを押すと、再生を一時停止します。
ループポイントを設定していない場合（A、Bキーが消灯時）は、LOOPキーを押してもLOOPキーは消灯のまま何も行いません。

3.4.5　ループポイントの消去（A-B間ループ時）



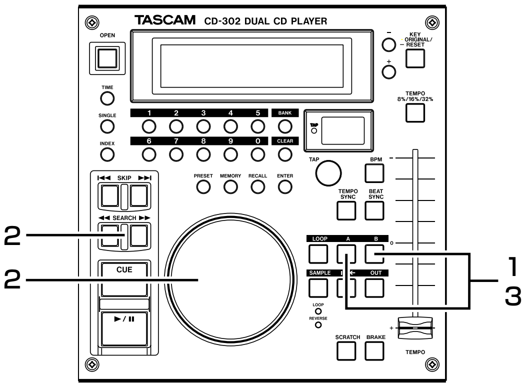
ループポイントが設定されているとき（A／Bキーが点灯時）Aキーを押しながらBキーを押す（またはBキーを押しながらAキーを押す）と、A／Bキーが消灯しA／Bポイントを消去します。

トラックが変わると、ループポイントもクリアします。

メモリー機能［→ 4.10　メモリー機能　P20］を使って、ループポイントをメモリーしておくことができます。

3.4.6　ループポイントの修正（A-B間ループ時）

必要に応じてループポイントを修正することができます。
ループ再生時以外のときにループポイントを修正できます。


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
2
2
1
3
LOOP
A
B
SEARCH
CUE

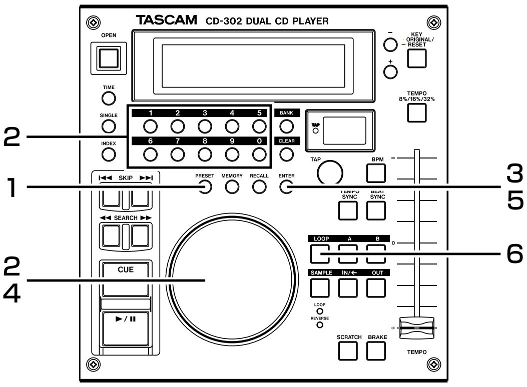
1. AまたはBキーをダブルクリックします。
   AまたはBポイントで一時停止状態になり、AまたはBキーが点滅を始めます。時間表示部に修正ポイントが表示されます。
2. JOGダイヤルまたはSEARCHキーでポイントを修正します。
3. 再度AまたはBキーを押して、新しいポイントを設定します。
   途中で修正をやめたい場合は、他のキーを押します。
   ダイレクトモード オン時［→ 4.20　ダイレクトモード P26］には、AまたはBキーを押した時点でループポイントは変更になります。

3.4.7　A-B間時間表示

ループポイントが設定されているとき（A／Bキーが点灯時）、TIMEキーを押すと、経過時間→残量時間表示の後にディスプレイにA-Bループ間の時間を2秒間表示します。

3.4.8　シングルループ

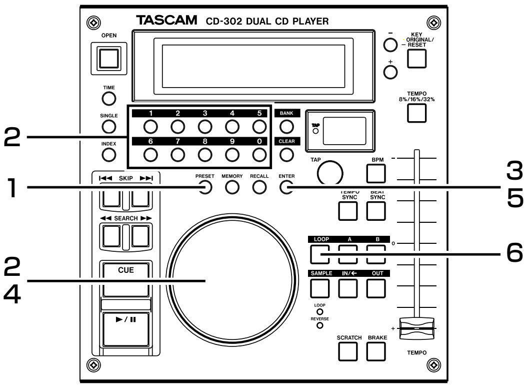
現在の曲をくり返し再生します。


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
2
1
2
4
3
5
6
PRESET
ENTER
LOOP

1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“01”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. JOGダイヤルを回し“S”を選択します。
5. ENTERキーを押します。
   このときディスプレイのSINGLEインジケーターが点灯します。
6. LOOPキーを押します。
   このときディスプレイのLOOPインジケーターが点灯し、LOOPキーが点灯します。

3.4.9　オールループ

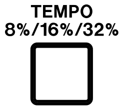
全曲をくり返し再生します。


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
2
1
2
4
3
5
6
PRESET
ENTER
LOOP

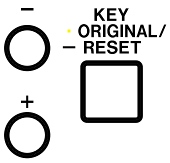
1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“01”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. JOGダイヤルを回し“ALL”を選択します。
5. ENTERキーを押します。
   このときディスプレイのALLインジケーターが点灯します。
6. LOOPキーを押します。
   このときディスプレイのLOOPインジケーターが点灯し、LOOPキーが点灯します。

4.1　テンポコントロール機能

TEMPOボリュームを使うことにより、テンポ（再生スピード）を変えることができます。
可変幅は、±8%、±16%、±32%、0%の中から選択できます。

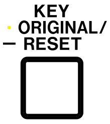

TEMPO
8%/16%/32%

TEMPOキーを押すとテンポおよびキーの可変幅が0%→±8%→±16%→±32%、の順で切り換わります。
可変幅の設定中は、ディスプレイのTEMPOおよびKEYインジケーターが点滅します。
0%を選択したときは、TEMPOおよびKEY表示が“- - -”になり、この場合TEMPOボリュームは効きません。


−
+
KEY
ORIGINAL/
RESET

テンポを変えるとキー表示も同様に変わります。
KEY ORIGINALキーを押すことによって、キーを変えずにテンポだけ変えることも可能です。

4.1.1　テンポのみを変える

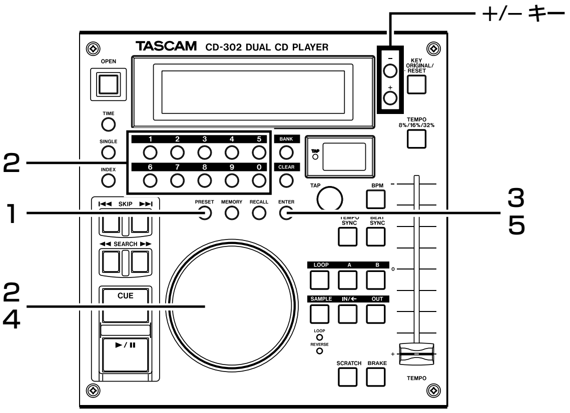

KEY
ORIGINAL/
RESET

KEY ORIGINALキーを押すとオリジナルキーモードになり、キーはTEMPOボリュームを変えても一定のままになります。
このとき、ディスプレイのKEYの値は“- - -”になります。

4.2　キーコントロール

+/−キーを使ってキーのみを変えることができます。%単位で変える方法と、半音単位で変える方法があります。

4.2.1　キーを%単位で変える

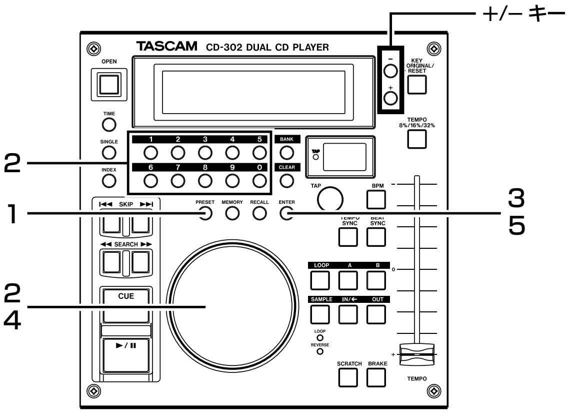

+/− キー
2
1
2
4
3
5
TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
KEY ORIGINAL/ RESET
TEMPO 8%/16%/32%
PRESET
MEMORY
RECALL
ENTER

1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“04”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. JOGダイヤルを回し“+”を選択します。
5. ENTERキーを押します。

KEY ORIGINALキー2秒以上押し続けると、キーを0%にリセットします。

4.2.2　キーを半音単位で変える

キーを半音単位で変えることができます。


+/− キー
2
1
2
4
3
5
TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
KEY ORIGINAL/ RESET
TEMPO 8%/16%/32%
PRESET
MEMORY
RECALL
ENTER

1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“04”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. JOGダイヤルを回し“♯♭”を選択します。
5. ENTERキーを押します。

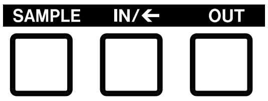
4.3　サンプラー機能

CD-302では、それぞれのプレーヤーユニットで約10秒のサンプリングができます（スクラッチ機能オフ時）。
1曲の中の10秒以内の任意の2点間をサンプリングすることができます。

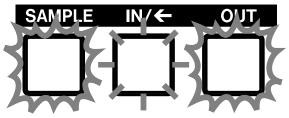
4.3.1　サンプリングする

サンプリングを行う場合は、IN、OUTキーが消灯（未サンプリング状態）していなければなりません。
サンプリングが既に行われている場合は、サンプリングデータを消去してください。[→ 4.3.9 サンプリングデータの消去　P18]

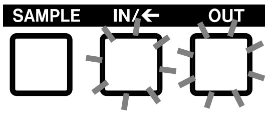
- IN、OUTキーが消灯していることを確認してください。



1. 再生または一時停止時にINキーを押すと、サンプリングを開始します。
   このとき、INキーは点灯、OUTキー及びSAMPLEキーは点滅します。

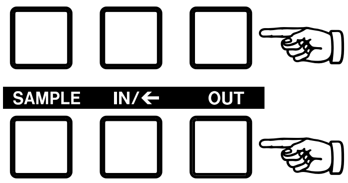


2. その後OUTキーを押すとサンプリングを終了します。
   このとき、IN、OUTキーとも点灯に変わります。



OUTキーを押さなくても、10秒経過したときあるいはその曲が終了した時にはサンプリングは終了します。

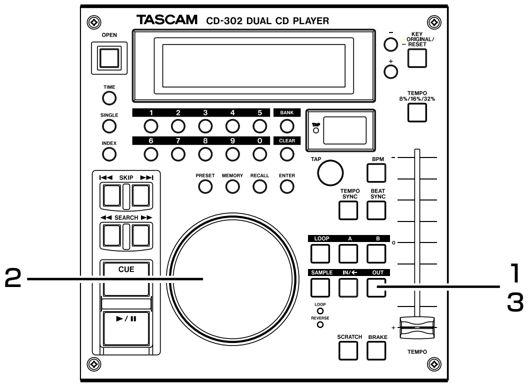
4.3.2　A-Bループで設定した区間をサンプリングする



ループの設定がされている場合、Bキーを押しながらOUTキーを押す（OUTキーを押しながらBキーを押す）ことにより、ループ区間のサンプリングを行うことができます（ループ再生時以外）。
ループ区間が10秒以上の場合は、最初の10秒間をサンプリングします。

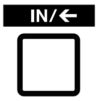
4.3.3　アウトポイントの修正

インポイントの編集はできませんが、インポイントから10秒以内の区間であればアウトポイントの修正ができます。

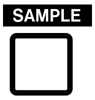


1. IN、OUTキーが点灯しているとき、OUTキーをダブルクリックします。
   このときディスプレイにインポイントからのサンプリング時間を表示します。
2. JOGダイヤルでポイントを修正します。
3. OUTキーを押します。

4.3.4　サンプラーの再生



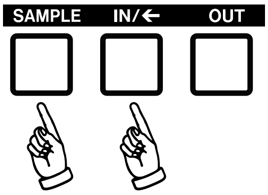
IN、OUTキーが点灯しているとき、INキーを押すとサンプラーの再生を行います。このときSAMPLEキーが点灯します。
OUTキーを押すとサンプラーの再生を停止します。このときSAMPLEキーが消灯します。



サンプラーの再生中にINキーを押すと、常にサンプリングしたデータの頭から再生を行います。

4.3.5　サンプラーのリバース再生

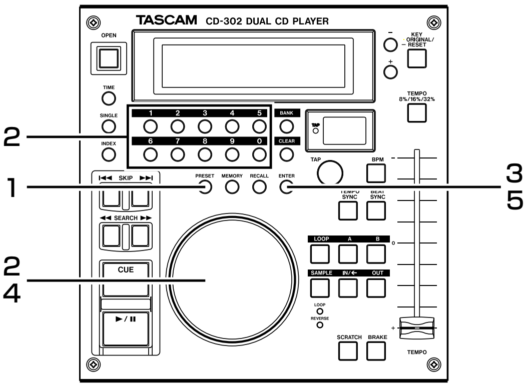
SAMPLEキーを押しながらINキーを押すと、サンプラーのリバース再生モードになります。


SAMPLE
IN/←
OUT

- プリセット項目の5“5An̄P_P”（SAMPLER PLAY MODE）で設定することもできます。

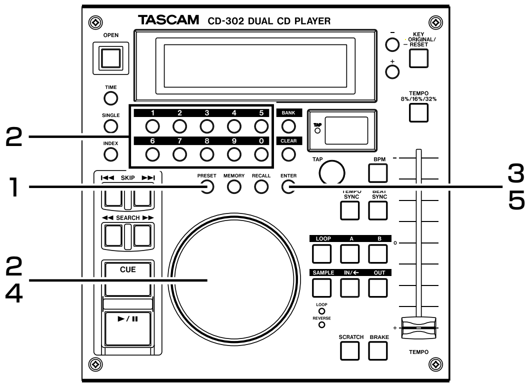
1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“05”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. JOGダイヤルを回し“r”を選択します。
5. ENTERキーを押します。
   このときREVERSE LEDが点灯します。

4.3.6　サンプラー再生テンポの設定


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
2
1
2
4
3
5
PRESET
MEMORY
RECALL
ENTER
CUE
SAMPLE
IN/←
OUT

1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“07”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. JOGダイヤルを回し希望の再生テンポを設定します。
5. ENTERキーを押します。

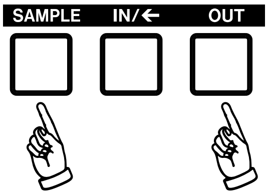
4.3.7　サンプラー再生キーの設定


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
2
1
2
4
3
5
PRESET
MEMORY
RECALL
ENTER
CUE
SAMPLE
IN/←
OUT

1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“08”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. JOGダイヤルを回し希望の再生キーを設定します。
5. ENTERキーを押します。

4.3.8　サンプラーのループ再生

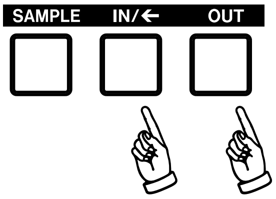
サンプリングした内容のループ再生を行います。
SAMPLEキーを押しながらOUTキーを押すと、サンプラーのループ再生モードになります。


SAMPLE
IN/←
OUT

- プリセット項目の5“5An̄P_L”（SAMPLER LOOP）で設定することもできます。

1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“06”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. JOGダイヤルを回し“On”を選択します。
5. ENTERキーを押します。
   このときLOOP LEDが点灯します。

4.3.9　サンプリングデータの消去



サンプリングが行われているとき（IN、OUTキーが点灯時）、INキーを押しながらOUTキーを押す（OUTキーを押しながらINキーを押す）と、IN、OUTキーが消灯しサンプリングデータを消去します。
サンプリングが行われていないとき（IN、OUTキーが消灯時）、この操作を行っても何も行いません。

4.4　ベンド機能

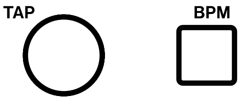
再生中に一時的にテンポを変化（約±8%）させることができます。
再生中にジョグダイヤルを右に回すとテンポが速くなり、左に回すとテンポが遅くなります。
ビートのずれを補正するときに便利です。

4.5　BPM

CD-302は曲のBPM（Beats Per Minute）を計測し、BPMカウンターに表示することができます*。またこの機能を使って、2つのプレーヤーユニット間のテンポシンクやビートシンクが可能になっています。

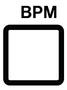
＊ 曲によりBPMを計測できないことがあります。

4.5.1　BPMの計測



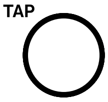
CD-302は常にBPMを計測しています。BPMの計測モードには、自動計測モードとタップモードがあります。TAPキーを叩くとタップモードになり、BPMキーを押すと自動計測モードになります。

4.5.2　BPM値のクリア



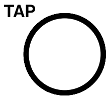
BPMキーを2秒以上押すと、BPM値をクリアし再計測します。

4.5.3　TAPキーによるBPMの計測



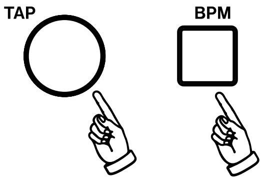
TAPキーを叩くと、その値をBPMカウンターに表示し自動的にタップモードになります。
このとき、BPMカウンターの横にあるTAP LEDが点灯します。

4.5.4　タップ値のクリア



タップ値をPBMカウンターに表示しているとき、TAPキーを2秒以上押し続けるとタップ値をクリアします。

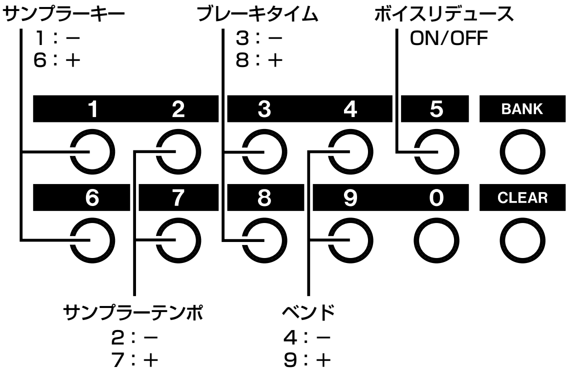
4.5.5　JOGダイヤルによるタップ値の補正



TAPキーを押しながらBPMキーを押す（BPMキーを押しながらTAPキーを押す）ことにより、BPMカウンターに表示しているタップ値をJOGダイヤルで補正することができます。
補正後ENTERキーで確定します。このときBPMカウンターに何も表示していなければ、デフォルトのタップ値として“120”を表示します。

4.6　10キーモード

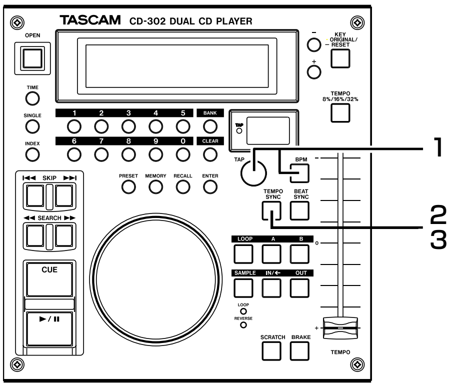
CLEARキーを押しながらENTERキーを押すことにより、CD-302の様々な機能をリアルタイムにコントロールすることができます。



この時ディスプレイに“ñOdE 2”(MODE 2) を一瞬表示します。
通常の10キーモードは“ñOdE 1”(MODE 1) です。

4.7　テンポシンク機能

計測したBPMを利用して、2つのプレーヤー間でお互いに再生している曲のテンポを自動的に合わせることができます。
テンポシンクのガイドになるBPMは、自動計測しているBPMか、タップ入力したBPMです。いずれもBPMカウンターに表示している値になります。



- テンポマスターになるプレーヤーを再生状態で、BPM（自動計測またはタップ入力）を表示していることを確認してください。

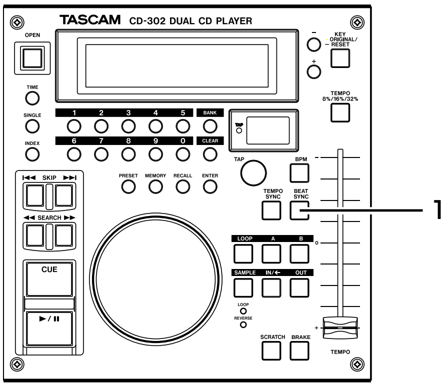
1. テンポシンクしたいプレーヤー側を再生して、BPM（自動計測またはタップ入力）を表示します。
2. テンポシンクしたいプレーヤー側のTEMPO SYNCキーを押します。
3. テンポシンクするまではTEMPO SYNCキーは点滅し、シンクすると点灯に変わります。

- 以下の場合はテンポシンクを解除します。
  このとき、TEMPO SYNCキーは消灯します。
  - テンポマスター側のプレーヤーのTEMPO SYNCキーかBEAT SYNCキーを押したとき
  - テンポシンクしているプレーヤー側のTEMPO SYNCキーを押したとき
  - テンポシンクしているプレーヤー側のTEMPOボリュームを動かしたとき
  - TEMPO SYNCキーを押したとき両プレーヤーのBPM差が32%以上の場合（点滅後消灯）

4.8　ビートシンク機能

テンポシンク機能がオンのとき（TEMPO SYNCキーが点灯しているとき）、2つのプレーヤー間でお互いに再生している曲のビートを自動的に合わせることができます。最も近いビート同志を合わせます。

テンポシンク機能がオフのときは、自動的にテンポシンク機能をオンにしてテンポを合わせてからビートシンクを行います。



- 「4.7 テンポシンク機能　P19」のステップ1.～2.を行います。

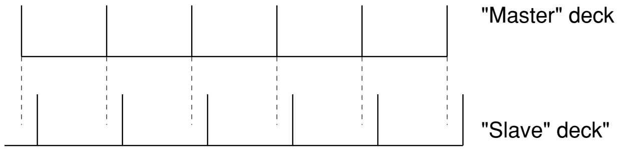
1. ビートシンクしたいプレーヤー側のBEAT SYNCキーを押します。
   ビートシンクするまではBEAT SYNCキーが点滅し、シンクすると点灯に変わります。

- 以下の場合はビートシンクを解除します。
  このとき、BEAT SYNCキーは消灯します。
  - ビートマスター側のプレーヤーのTEMPO SYNCキーかBEAT SYNCキーを押したとき
  - ビートシンクしているプレーヤー側のTEMPO SYNCキーかBEAT SYNCキーを押したとき
  - ビートシンクしているプレーヤー側のTEMPOボリュームを動かしたとき
  - ビートマスター側のタップ値をJOGダイヤルを使って設定したとき

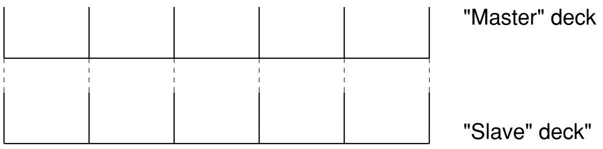
メモ

本機は一度シンクした後は自動補正を行いません。
シンク後にずれが生じた場合は、もう一度BEAT SYNCキーを押してシンクをやり直してください。

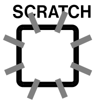
TEMPO SYNC



BEAT SYNC



4.9　スクラッチ再生



レコードのスクラッチのような再生ができます。
SCRATCHキーを押します。このときSCRATCHキーが点灯します。
JOGダイヤルを回すと、スクラッチ再生ができます。
一時停止時でも再生中でもスクラッチ再生はできます。
現在のポイントの手前には5秒、後ろは制限なくスクラッチ再生が可能です。
なお、A-Bループおよびシングルループ中はスクラッチ機能は働きません。

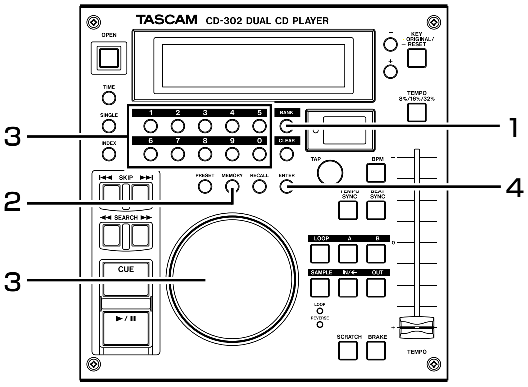
4.10　メモリー機能

CD-302は200曲の再生設定をメモリーできるバンク（プレーヤー1／プレーヤー2共通）を5つ（A～E）持っていますので、合計1,000曲のメモリーができます。総トラック数と記録時間をディスクIDとし、以下の内容をメモリーします。

- ディスクID
- キューポイント
- ループ開始／終了点［A (Start)／B (End)値］
- ループモード［A-b／Single／ALL］
- 演奏モード［連続／SINGLE／PROGRAM］
- サンプラー開始／終了点［IN／OUT値］
- サンプラーの再生モード［Forward／Reverse］
- サンプラーのループモード［オン／オフ］
- テンポ設定値
- テンポキー可変範囲［0%／8%／16%／32%］
- テンポキー同時可変［オン／オフ］
- キー設定値
- 半音可変［オン／オフ］
- BPM値
- タップ値
- ブレーキ［オン／オフ］
- ブレーキ時間設定値［0.2～3秒］
- 時間表示［Elapsed／REMAIN］
- 出力レベル設定値［normal, ±6dB］

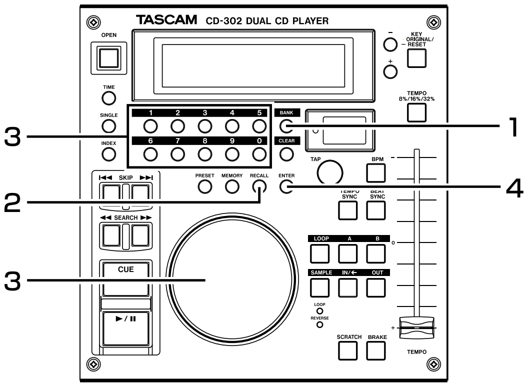
このうち、サンプリングポイントに関しては、リコールをするかしないかの設定ができます（プリセット項目の9）。
選択しているバンクにメモリーが入っているディスクを挿入すると、ディスプレイの“M”が3秒間点滅します。

4.10.1　メモリー


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
3
2
3
1
4
BANK
PRESET
MEMORY
RECALL
ENTER

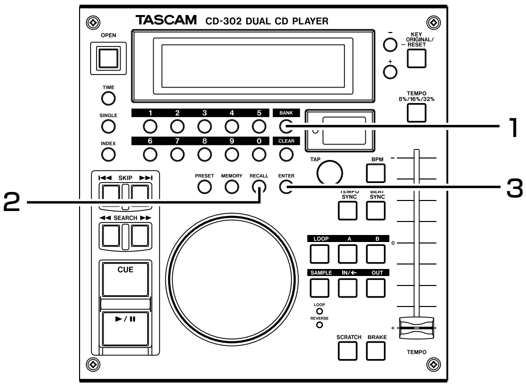
1. BANKキーを押してメモリーバンクを指定します。
2. MEMORYキーを押します。
   ディスプレイにMEMOと表示し、空きメモリーの一番若い番号を表示します。
   このときディスプレイの“M”が点滅します。
3. メモリー番号を変更したい場合は、テンキーで番号を入力するか、JOGダイヤルで設定します。
4. ENTERキーを押して確定します。
   このときディスプレイの“M”が点灯に変わります。

4.10.2　メモリー番号からのリコール


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
3
2
3
1
4
BANK
PRESET
MEMORY
RECALL
ENTER

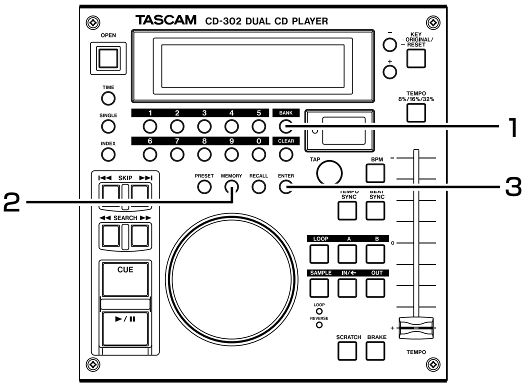
1. BANKキーを押してメモリーバンクを指定します。
2. RECALLキーを押します。
3. リコールしたいメモリー番号を、テンキーあるいはJOGダイヤルで指定します。
   そのメモリー番号にメモリーがある場合は、メモリー番号が点灯しディスプレイの“M”が点滅します。
4. メモリーがある場合、ENTERキーを押すとメモリー内容を呼び出し曲をスタンバイします。

4.10.3　メモリートラックからのリコール


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
1
2
3

1. BANKキーを押してメモリーバンクを指定します。
   メモリーのある曲に入ったときに、ディスプレイの“M”が点灯します。
2. RECALLキーを押します。
   このときディスプレイの“M”が点滅を始めます。
3. ENTERキーを押します。
   メモリー内容を呼び出し、曲をスタンバイします。

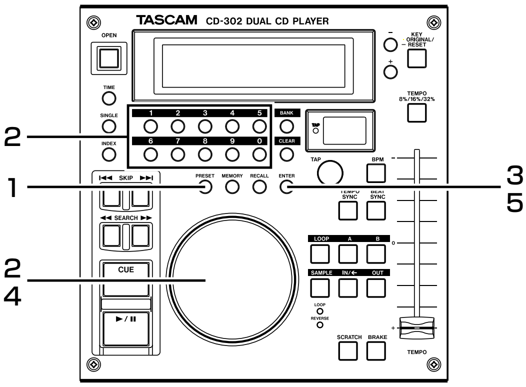
4.10.4　メモリーの書き換え


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
1
2
3

1. BANKキーを押してメモリーバンクを指定します。
2. MEMORYキーを押します。
   ディスプレイに“-SUrE-(SURE)”が表示されます。
3. ENTERキーを押してメモリーを書き換えます。

4.10.5　サンプリングポイントのメモリーリコール

不用意にサンプラーのデータを書き替えないように、サンプリングポイントのメモリーリコールを使用して、サンプリングデータの書き替えをするかしないかの設定を行うことができます。初期設定ではオフになっています。


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
2
1
2
4
3
5

1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“09”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. JOGダイヤルを回し設定値を選択します。
5. ENTERキーを押します。

この設定をオフにしているときでも、メモリーしているサンプリングポイントをリコールしてサンプリングデータの書き替えを行うことができます。

1. メモリーをリコールします。
   ［→ 4.10.2　メモリー番号からのリコール　P20］
   ［→ 4.10.3　メモリートラックからのリコール　P21］
2. このときサンプリングポイントがメモリーされていれば、INキーおよびOUTキーが3回点滅します。
3. 一時停止状態であること確認した後、OUTキーを2秒以上押します。
4. サンプリングデータが書き換わり、INキーおよびOUTキーが点灯します。

4.10.6　メモリーの消去

個々のメモリーを消去する方法と、全てのメモリーを消去する方法があります。

個々のメモリーを消去する

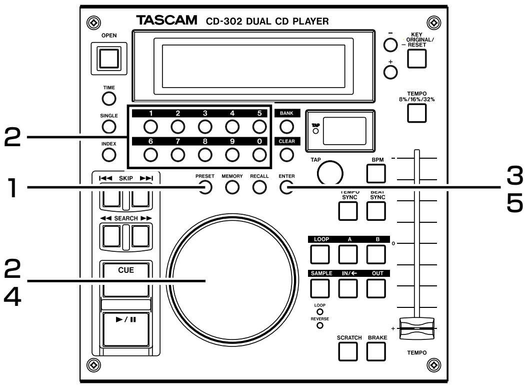
1. 消去したいメモリーをリコールします。
   ［→ 4.10.2　メモリー番号からのリコール　P20］
   ［→ 4.10.3　メモリートラックからのリコール　P21］
   ディスプレイの“M”が点灯します。
2. MEMORYキーを2秒以上押します。
   メモリーが消去されディスプレイの“M”が消灯します。

全てのメモリーを消去する

1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“24”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. ディスプレイに“-5UrE-(SURE)”を表示します。
5. ENTERキーを押します。
   プレーヤー１／プレーヤー２のメモリーが消去されます。
   消去中（ENTERキーを押してから数秒間）は電源を落とさないでください。

4.11　ボイスリデュース機能

ボイスリデュース機能をオンにすると、曲の中のボーカルの音量を下げることができます。


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
2
1
2
4
3
5
PRESET
MEMORY
RECALL
ENTER
CUE

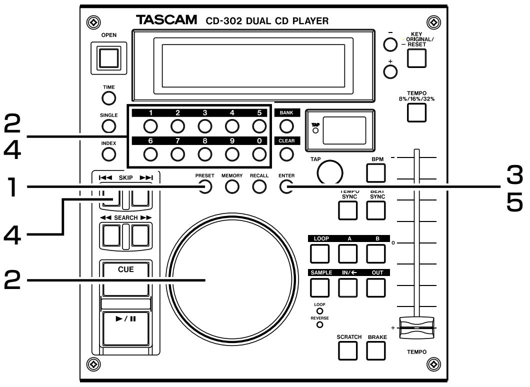
1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“10”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. JOGダイヤルを回し“On”を選択します。
5. ENTERキーを押します。

4.12　プログラム再生

SINGLEキーでプログラム再生モードを選択しているとき、最大30曲までのプログラム再生を行うことができます。

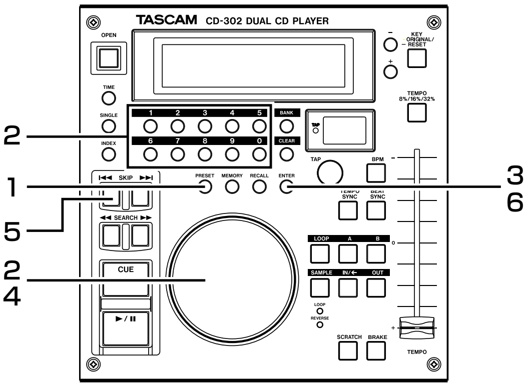
プログラム内容は電源を切っても記憶しているため、通常の再生操作だけでなく、タイマープレイ時にもプログラム再生を行うことができます。

4.12.1　プログラムの設定


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
2
4
1
4
2
3
5
SKIP
PRESET
MEMORY
RECALL
ENTER
CUE

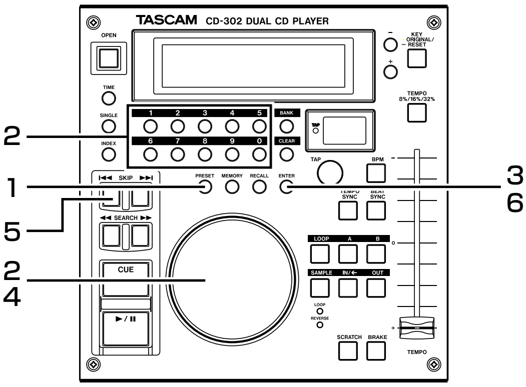
1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“11”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
   ディスプレイにプログラム番号とトラック番号を表示します。
4. SKIPキーまたはテンキーでプログラムしたいトラックを選択します。
5. ENTERキーで確定します。
6. 4.と5.をくり返します。
   再度PRESETキーを押すか、あるいはENTERキー、SKIPキー以外のキーを押すとプログラムの設定を終了します。

4.12.2　プログラムの追加


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
OPEN
KEY ORIGINAL/ RESET
TIME
TEMPO 8%/16%/32%
SINGLE
INDEX
1 2 3 4 5
6 7 8 9 0
BANK
CLEAR
TAP
BPM
SKIP
PRESET
MEMORY
RECALL
ENTER
TEMPO SYNC
BEAT SYNC
SEARCH
LOOP
A
B
CUE
SAMPLE
IN/←
OUT
LOOP REVERSE
►/II
SCRATCH
BRAKE
TEMPO
2
1
5
2
4
3
6

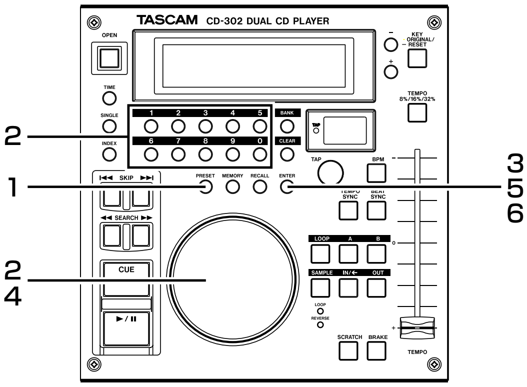
1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“11”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
   ディスプレイにプログラム番号とトラック番号を表示します。
4. JOGダイヤルを回して追加したいプログラム番号を表示します。
5. SKIPキーで追加したいトラックを選択します。
6. ENTERキーで確定します。
   以降のプログラム番号は繰り下がります。
7. 4.〜6.をくり返します。
   再度PRESETキーを押すか、あるいはENTERキー、SKIPキー以外のキーを押すとプログラムの追加を終了します。

4.12.3　プログラムの削除


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
OPEN
KEY ORIGINAL/ RESET
TIME
TEMPO 8%/16%/32%
SINGLE
INDEX
1 2 3 4 5
6 7 8 9 0
BANK
CLEAR
TAP
BPM
SKIP
PRESET
MEMORY
RECALL
ENTER
TEMPO SYNC
BEAT SYNC
SEARCH
LOOP
A
B
CUE
SAMPLE
IN/←
OUT
LOOP REVERSE
►/II
SCRATCH
BRAKE
TEMPO
2
1
5
2
4
3
6

1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“11”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
   ディスプレイにプログラム番号とトラック番号を表示します。
4. JOGダイヤルを回して削除したいプログラム番号を表示します。
5. SKIPキーで“E（Erase)”を選択します。
6. ENTERキーで確定します。
   以降のプログラム番号は繰り上がります。
7. 4.〜6.をくり返します。
   再度PRESETキーを押すか、あるいはENTERキー、SKIPキー以外のキーを押すとプログラムの削除を終了します。

4.12.4　プログラムの全消去

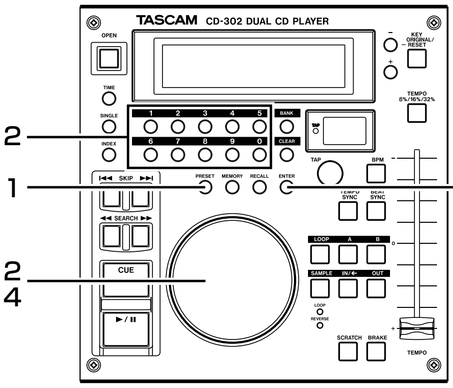

TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
OPEN
KEY ORIGINAL/ RESET
TIME
TEMPO 8%/16%/32%
SINGLE
INDEX
1 2 3 4 5
6 7 8 9 0
BANK
CLEAR
TAP
BPM
SKIP
PRESET
MEMORY
RECALL
ENTER
TEMPO SYNC
BEAT SYNC
SEARCH
LOOP
A
B
CUE
SAMPLE
IN/←
OUT
LOOP REVERSE
►/II
SCRATCH
BRAKE
TEMPO
2
1
2
4
3
5
6

1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“11”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
   ディスプレイにプログラム番号とトラック番号を表示します。
4. JOGダイヤルを回して“E（Erase)”を選択します。
5. ENTERキーを押します。
6. “-SUrE-(SURE)”と表示しますので、再度ENTERキーを押します。プログラムの全消去を行います。

- トレイをオープンしてもプログラムを全消去します。

4.13 出力レベルの設定

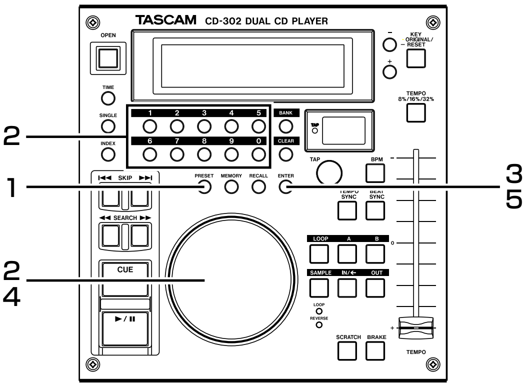
±6dB、1dB単位で出力レベルをデジタル領域で調整できます。0dBに設定した場合、出力が6dB下がりますので、ミキサー／アンプ側でレベルを上げてください。


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
OPEN
TIME
SINGLE
INDEX
BANK
CLEAR
KEY ORIGINAL/RESET
TEMPO 8%/16%/32%
TAP
BPM
PRESET
MEMORY
RECALL
ENTER
SKIP
SEARCH
CUE
TEMPO SYNC
BEAT SYNC
LOOP
SAMPLE
IN/←
OUT
SCRATCH
BRAKE
TEMPO
2
1
2
4
3
5

1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“12”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. JOGダイヤルを回し設定値を選択します。
5. ENTERキーを押します。

4.14 ブレーキ機能

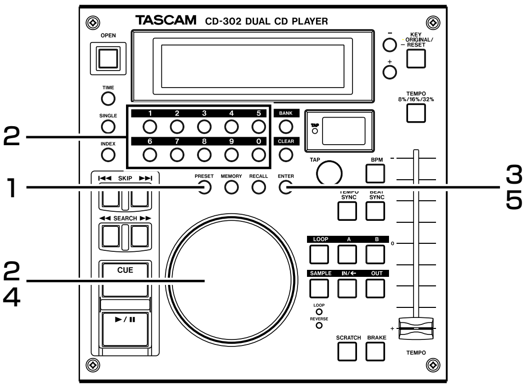
ブレーキ機能がオンの状態（BRAKEキーが点灯）で、再生中にPLAY/PAUSEキーを押すと、ターンテーブルを止めたときのようにゆっくりと音が止まります。
ブレーキタイムは、0.2〜5秒まで0.1秒単位で設定が可能です。


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
PRESET
MEMORY
RECALL
ENTER
2
1
2
4
3
5

1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“13”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. JOGダイヤルを回し設定値を選択します。
5. ENTERキーを押します。

4.15 EOM(End Of Message)の設定

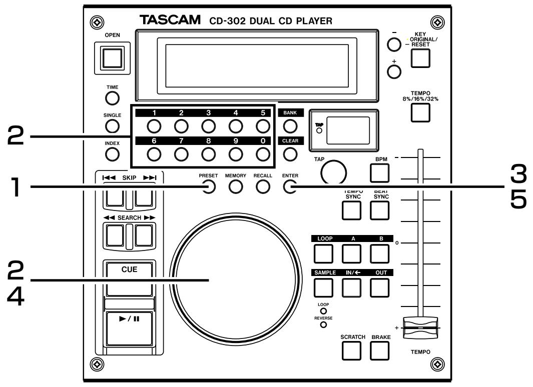
曲の終わりが近づくとタイムアドレスバーが点滅を始めます。10秒前になると早い点滅に変わります。
EOM時間は、OFF、10、15、20、30、60、90秒の中から選択できます。


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
PRESET
MEMORY
RECALL
ENTER
2
1
2
4
3
5

1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“14”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. JOGダイヤルを回し設定値を選択します。
5. ENTERキーを押します。

4.16 オートレディー機能

1曲再生を終えると次の曲の頭で一時停止します。
オートレディー機能がオンのときはディスプレイのAUTO READYインジケーターが点灯します。

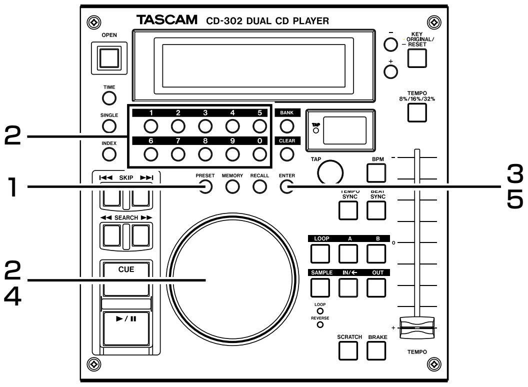

TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
2
1
2
4
3
5

1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“16”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. JOGダイヤルを回し“On”を表示します。
5. ENTERキーを押します。

- 1曲再生モードの場合、オートレディー機能は働きません。

4.17 タイマープレイ機能

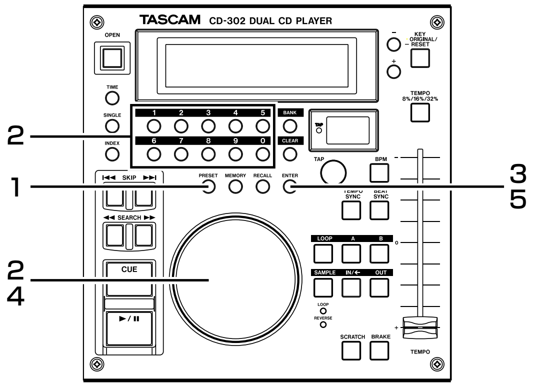
タイマープレイ機能がオンの場合、電源投入時にプレーヤーユニットにディスクが入っていれば、自動的に再生を開始します。
各プレーヤーで設定が可能です。
両方のプレーヤーのタイマープレイ機能がオンのときは、プレーヤー1が優先します。


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
2
1
2
4
3
5

1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“17”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. JOGダイヤルを回し“On”を選択します。
5. ENTERキーを押します。

4.18 インクリメンタルプレイ機能

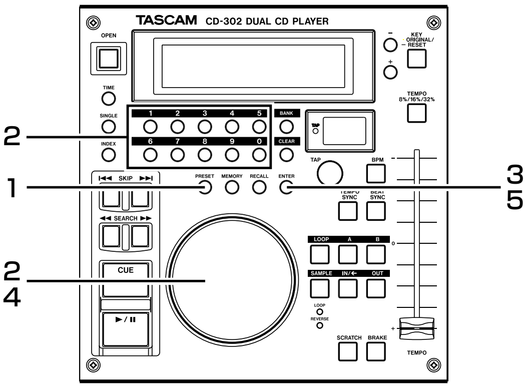
インクリメンタルプレイ機能がオンの場合（ディスプレイのINCR点灯）、再生中にフェーダーストップコマンドが来ると、次の曲の頭で一時停止状態になります。
このときディスプレイのINCRインジケーターが点灯します。


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
2
1
2
4
3
5

1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“18”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. JOGダイヤルを回し“On”を選択します。
5. ENTERキーを押します。

4.19 リレープレイ機能

リレープレイがオンの場合、そのプレーヤーユニットの再生が終了すると、もう一台のプレーヤーユニットの再生が始まります。このとき、ディスプレイのRELAYインジケーターが点灯します。各プレーヤーで設定が可能です。一台設定すると両方が設定されます。


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
2
1
2
4
3
5

1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“19”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. JOGダイヤルを回し“On”を選択します。
5. ENTERキーを押します。

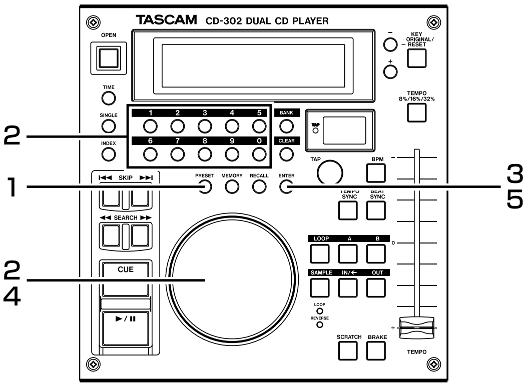
4.20 ダイレクトモード

ダイレクトモード（プリセット項目の20）がオンの場合は以下の動作になります。

① 再生中にOPENキーを受け付ける。

② トレイクローズ後自動的に再生を始める。

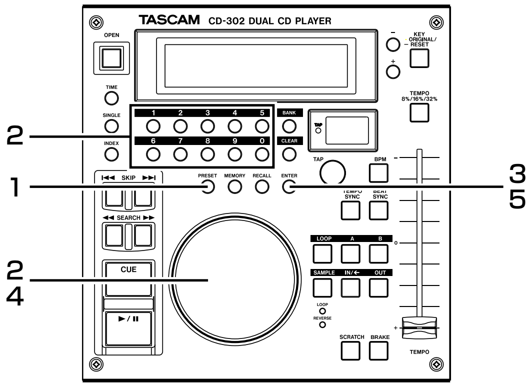
③ LOOPキー消灯時に、A／Bポイントの上書きを受け付ける。


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
2
1
2
4
3
5

1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“20”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. JOGダイヤルを回し“On”を選択します。
5. ENTERキーを押します。

4.21 ディスクトレイのオートクローズ

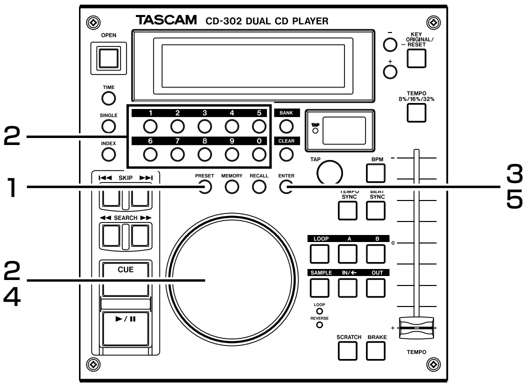
トレイオートクローズ機能をオンにすると、トレイオープン後1分経過すると自動的にトレイが閉ります。


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
2
1
2
4
3
5

1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“21”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. JOGダイヤルを回し“On”を選択します。
5. ENTERキーを押します。

4.22　スリープ機能

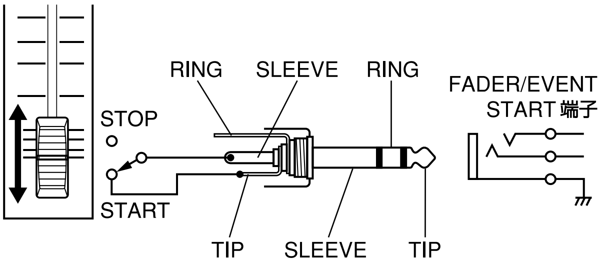
スリープ機能をオンにすると、30分間何も操作をしなかった場合にモーターが停止し表示が消えます。


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
OPEN
TIME
SINGLE
INDEX
1 2 3 4 5
6 7 8 9 0
BANK
CLEAR
KEY ORIGINAL/RESET
TEMPO 8%/16%/32%
TAP
BPM
PRESET
MEMORY
RECALL
ENTER
SKIP
SEARCH
TEMPO SYNC
BEAT SYNC
LOOP
A
B
SAMPLE
IN/←
OUT
CUE
LOOP REVERSE
SCRATCH
BRAKE
TEMPO
2
1
2
4
3
5

1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“22”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. JOGダイヤルを回し“On”を選択します。
5. ENTERキーを押します。

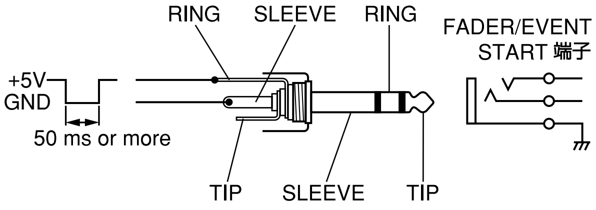
4.23　フェーダースタート/ストップ機能

プレーヤー本体のリアパネルにあるFADER/EVENT START端子を使って、フェーダースタート/ストップができます。
TipとSleeveを使用します。


STOP
START
RING
SLEEVE
RING
TIP
SLEEVE
TIP
FADER/EVENT
START 端子

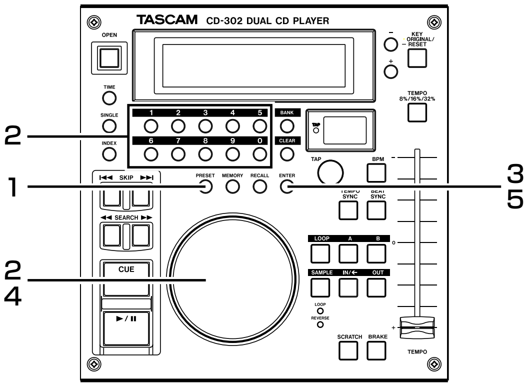
4.24　イベントスタート機能

プレーヤー本体のリアパネルにあるFADER/EVENT START端子を使って、イベントスタートができます。
RingとSleeveを使用します。


RING
SLEEVE
RING
+5V
GND
50 ms or more
TIP
SLEEVE
TIP
FADER/EVENT
START 端子

4.25　ファクトリープリセット

工場出荷時の状態にします。


TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
OPEN
TIME
SINGLE
INDEX
1 2 3 4 5
6 7 8 9 0
BANK
CLEAR
KEY ORIGINAL/RESET
TEMPO 8%/16%/32%
TAP
BPM
PRESET
MEMORY
RECALL
ENTER
SKIP
SEARCH
TEMPO SYNC
BEAT SYNC
LOOP
A
B
SAMPLE
IN/←
OUT
CUE
LOOP REVERSE
SCRATCH
BRAKE
TEMPO
2
1
2
4
3
5

1. PRESETキーを押します。
2. JOGダイヤルまたはテンキーで“23”を選択します。
3. ENTERキーを押します。
4. ディスプレイに“-SUrE-(SURE)”を表示します。
5. ENTERキーを押します。

第5章　定格及び性能

定格

使用ディスク	8cm / 12cm CD
チャンネル数	2チャンネル
量子化ビット数	16ビット
サンプリング周波数	44.1kHz
D/Aコンバーター	16ビット8倍オーバーサンプリング
出力インピーダンス	1kΩ以下
最大出力レベル	+6dBV
電源	100V AC 50-60Hz
消費電力	32W

外形寸法（W×H×D mm）

本体	482×88×261（2U）
リモートコントローラー	482×220×87（5U）

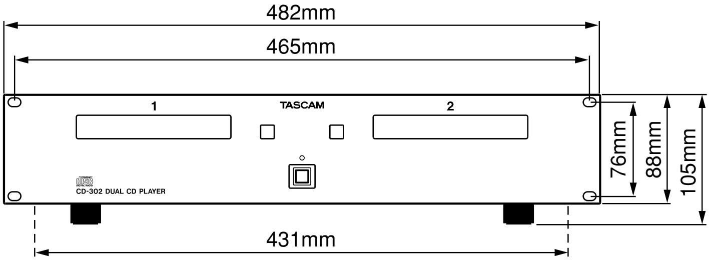
質量

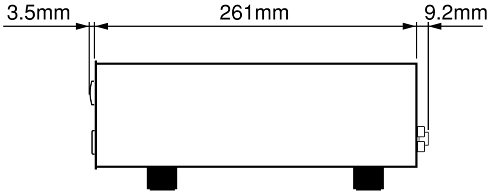
本体	5.9kg
リモートコントローラー	3.9kg（二台連結時）

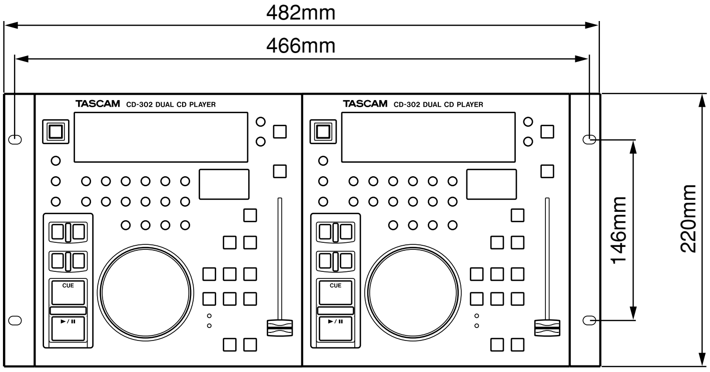
性能（キー／テンポ0%時）

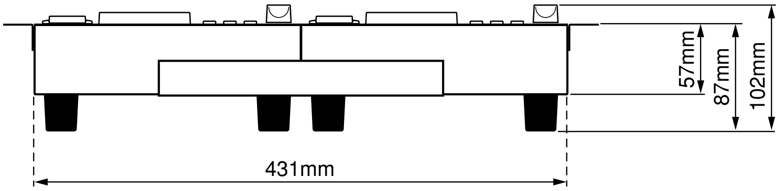
周波数特性	20Hz〜20kHz±1.0dB
ダイナミックレンジ	98dB
S/N比	98dB（IHF-A）
歪み率	0.006%以下

寸法図


482mm
465mm
1
TASCAM
2
CD-302 DUAL CD PLAYER
76mm
88mm
105mm
431mm


3.5mm
261mm
9.2mm


482mm
466mm
TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
TASCAM CD-302 DUAL CD PLAYER
CUE
CUE
146mm
220mm


57mm
87mm
102mm
431mm

エラーメッセージ

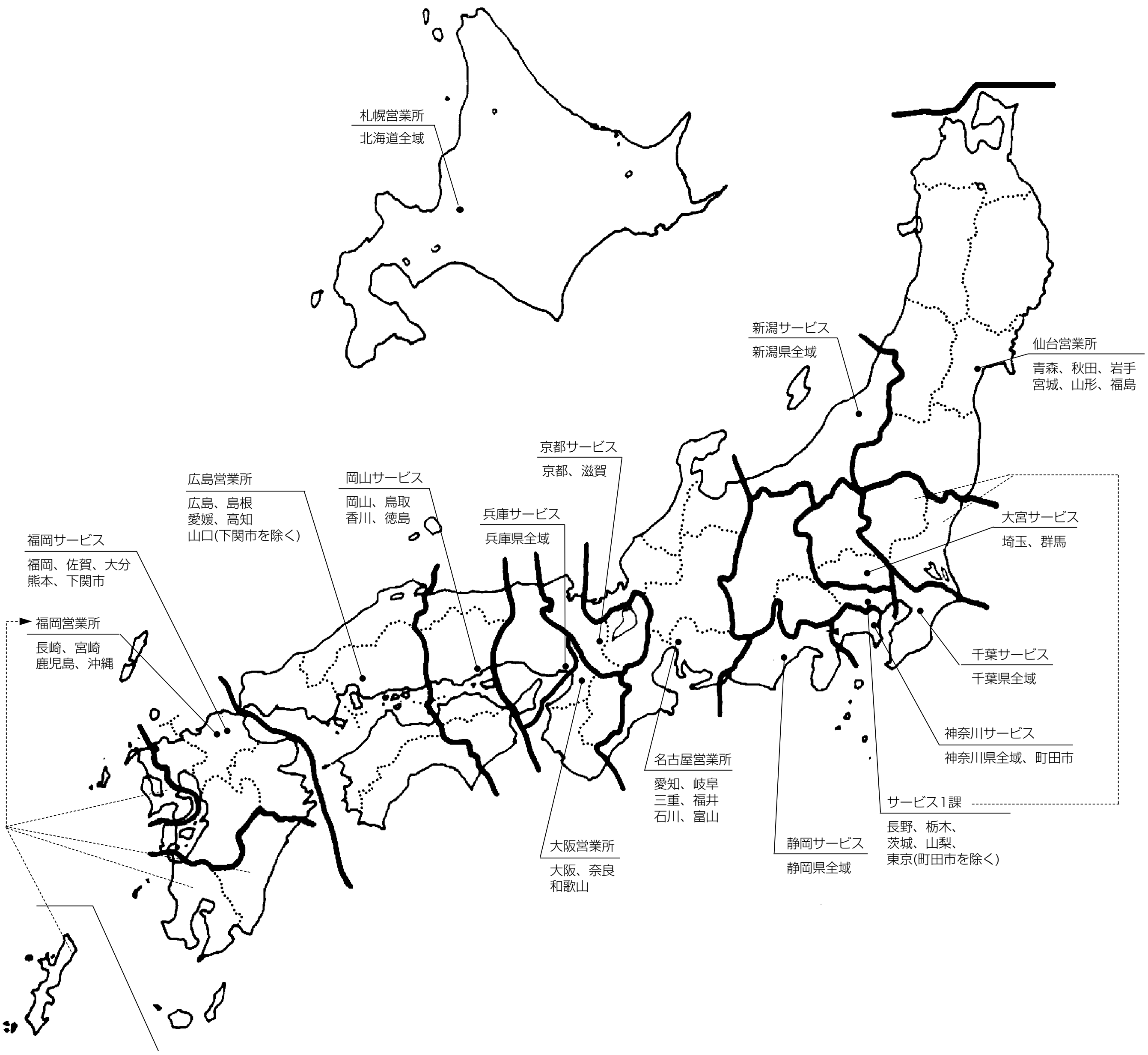
万一エラーメッセージが表示された場合は、以下の「対処」を試みてください。
改善が見られない場合は、当社のサービス機関にご相談ください。

表示	意味	内容	対処
Err 01	No Disc	規定回数（4回）フォーカス処理を行ってもフォーカスがかからない。	• ディスクを入れてください。 • ディスクの裏表を確認してください。
Err 03	TOCリードエラー	TOCの読込みが規定時間内（20秒）に終了しない。	• ディスクを交換してください。 • ディスクをクリーニングしてください。
Err 04	GFSエラー	規定時間、GFS（5秒×3回連続）を検出できない。	• ディスクを交換してください。 • ディスクをクリーニングしてください。
Err 05	フォーカスエラー	ディスク検出後の再フォーカス時、規定回数（8回）フォーカス処理を行ってもフォーカスがかからない。	• ディスクを交換してください。 • ディスクをクリーニングしてください。
Err 06	サブQエラー	規定時間内（5秒×2回）にサブQを検出できない。	• ディスクを交換してください。
Err 07	ローディングエラー	オープン／クローズ動作を規定回数（3回／4回）繰り返し行っても動作が終了しない。または内部読込みAD値（IN/OUT SW）が規定以外である。	• トレイ部に異物が挿入されていないか確認してください。
Err 08	スレットエラー	スレット引込み時、規定時間内（10秒）にリミットSWが検出できない。	• スレッド機構または電気系の異常が考えられます。電源を入れ直してください。
Err 09	通信エラー	CD1、CD2間通信異常。	• 電気系の異常が考えられます。電源を入れ直してください。

スペアパーツリスト

品番	品名
9260337700	ジョイントアングル
9783243006	ジョイントアングル取付けネジ
9109030600	リモートケーブル

TASCAM サービス・エリア


札幌営業所
北海道全域
新潟サービス
新潟県全域
仙台営業所
青森、秋田、岩手
宮城、山形、福島
京都サービス
京都、滋賀
広島営業所
広島、島根
愛媛、高知
山口(下関市を除く)
岡山サービス
岡山、鳥取
香川、徳島
兵庫サービス
兵庫県全域
大宮サービス
埼玉、群馬
福岡サービス
福岡、佐賀、大分
熊本、下関市
福岡営業所
長崎、宮崎
鹿児島、沖縄
千葉サービス
千葉県全域
神奈川サービス
神奈川県全域、町田市
名古屋営業所
愛知、岐阜
三重、福井
石川、富山
サービス1課
長野、栃木、
茨城、山梨、
東京(町田市を除く)
大阪営業所
大阪、奈良
和歌山
静岡サービス
静岡県全域

ティアック株式会社

	タスカム国内営業部	☎(0422)52-5072	〒180-8550	東京都武蔵野市中町3-7-3
技術的なお問い合わせ	タスカム営業技術	☎(0422)52-5106	〒180-8550	東京都武蔵野市中町3-7-3
アフター・サービスに関する お問い合わせ	札幌営業所	☎(011)521-4101㈹	〒064-0807	札幌市中央区南7条西2-2 くぼたビル
	仙台営業所	☎(022)218-0007㈹	〒981-3135	仙台市泉区八乙女中央3-2-30 リバーサイドヒル及川
	新潟サービス	☎(025)245-0103	〒950-0865	新潟県新潟市本馬越1-4-11 黒井ハイツ
	大宮サービス	☎(048)642-4551	〒331-0052	大宮市三橋2-846
	サービス1課	☎(0422)52-5101	〒180-8550	東京都武蔵野市中町3-7-3
	千葉サービス	☎(043)255-1281	〒260-0042	千葉市中央区椿森1-21-13 清水ビル
	神奈川サービス	☎(042)746-6850	〒228-0803	相模原市相模大野7-14-9 グリーンシティビル
	静岡サービス	☎(054)238-2431	〒422-8034	静岡市高松1-12-1 寿道ハイツ105号
	名古屋営業所	☎(052)702-3100㈹	〒465-0025	名古屋市名東区上社5-406
	京都サービス	☎(075)871-8730	〒616-8224	京都市右京区常盤窪町19 西垣ビル
	大阪営業所	☎(06)6384-5201㈹	〒564-0062	吹田市垂水町3-34-10
	兵庫サービス	☎(0727)55-1002	〒666-0004	兵庫県川西市萩原1-11-29
	岡山サービス	☎(086)225-8601	〒700-0945	岡山市新保1155-1
	広島営業所	☎(082)294-4751㈹	〒730-0846	広島市中区西川口町13-19
	福岡営業所	☎(092)431-5781㈹	〒812-0008	福岡市博多区東光2-2-24
	福岡サービス	☎(092)957-2050	〒811-2107	福岡県糟屋郡宇美町とびたけ3-7-12

■上記営業所にはサービス·センターを併設しています。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日を除く 9:30〜12:00/13:00〜17:00です。
■住所や電話番号は, 予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

PRINTED IN TAIWAN MA-0333